



平成30年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2018.4-2019.3

# 目次

## I. 事業報告

### 1. 企画展

「岡本太郎の写真」展	1
「街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界」展	11
「イサム・ノグチと岡本太郎」展	16
「第22回 岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展	23

### 2. 常設展

「太陽の塔誕生」展	26
「岡本太郎とからだ」展	30
「岡本太郎と渡仏記念展（1952）」	34
「ファンタジック TARO」展	37

### 3. 共催・協力企画展

42

### 4. 収集・保存・貸出

43

収集作品及び資料（購入）

寄贈作品・資料／作品額装／作品修復

貸出作品及び資料

### 5. 情報・刊行物

47

刊行物

### 6. 教育・普及事業

48

イベント・ワークショップ

団体利用実績

教育プログラム

館外普及活動

教材開発と利用

美術館教育研究会

### 7. 指定管理者による自主事業

59

### 8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

61

## II. 資料

- 1. 入館者数統計 . . . . . 63
  - 平成 30 年度 月別入館者数
  - 年度別入館者数
- 2. 美術館事業 予算・決算概要 . . . . . 66
  - 予算概要
  - 決算概要

## III. 組織名簿 . . . . . 70

- 1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会 委員名簿
- 2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

## IV. 川崎市岡本太郎美術館概要 . . . . . 71

- 1. 美術館の目的
- 2. 美術館事業内容
- 3. 美術館沿革
- 4. 施設・設備概要

## V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則 . . . . . 76

- 1. 条例
- 2. 条例施行規則

## I. 事業報告

### 1. 企画展

#### 「岡本太郎の写真」展

会 期	2018 年 4 月 28 日（土）～7 月 1 日（日）
開 催 日 数	55 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
企 画 協 力	楠本亜紀、藤原徹平
協 賛	株式会社堀内カラー
観 覧 料	一般 900（720）円、高・大学生・65 歳以上 700（560）円、中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金

入 場 者 数 16,083 名

1 日 平 均 287 名

図 録 A5

ポ ス タ ー B2

チ ラ シ A4（8 種）

出 品 点 数 267 点

担 当 者 佐藤玲子、北川裕介、篠原優



図録



チラシ



展示風景

©Nacása & Partners Inc. FUTA Moriishi

#### 【開催趣旨】

岡本太郎は若き日のパリで、画家としての方向を模索するかたわら、自分の行く道への裏づけを得るため哲学や社会学に関心を持ち、パリ大学で民族学・文化人類学を学びました。パリでは、画家だけでなく写真家とも親しく交流し、ブラッサイヤマン・レイに写真の手ほどきをうけ、引き伸ばし機を譲り受け、展覧会にも出品しています。しかし、岡本が猛烈な勢いで写真を撮りはじめるのは、戦後、雑誌に寄稿した文章の挿図に、自分が見たものを伝える手段としてこのメディアを選んだ時からでした。

こどもたち、風土、祭りの熱狂、動物、石と木、坂道の多い街、屋根、階段、境界。岡本が写し取ったイメージは、取材した土地・旅先でとらえられたもの。フィルムには、レンズを通してひたすらに見つめた、岡本太郎の眼の痕跡が残されています。本展では、岡本がフィルムに切り取ったモチーフ、イメージを軸に、岡本太郎の眼が見つめ捉えたものを検証することで、絵画や彫刻にも通底していく彼の関心・思考を探る試みです。

## 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

小野明男「岡本太郎 活写した 200 点」, 『神奈川新聞』2018 年 5 月 11 日 (金)  
大西若人「評 構成美 瞬時に切り取る力」, 『朝日新聞』2018 年 5 月 22 日 (火) [展評]  
飯沢耕太郎「artscape レビュー 岡本太郎の写真」, 2018 年 6 月 15 日号 [展評]  
山根聡「かながわ美の手帖 自分なりの関心 5 万点の作品に」, 『産経新聞』2018 年 6 月 24 日 (日) [展評]  
「写真芸術の世界 岡本太郎」, 『版画芸術』2018 年夏号 p.98-103, 阿部出版

## 【関連事業】

### ■レクチャーシリーズ「写真・採集・思考」

企画・司会 藤原徹平

#### 第 1 回

日 時 2018 年 5 月 12 日 (土) 14:00～  
場 所 ガイダンスホール  
講 師 柴崎友香 (小説家)  
料 金 要観覧券  
参加人数 40 名



#### 第 2 回

日 時 2018 年 5 月 19 日 (土) 14:00～  
場 所 ガイダンスホール  
講 師 目 (現代芸術活動チーム)  
料 金 要観覧券  
参加人数 29 名



#### 第 3 回

日 時 2018 年 5 月 27 日 (土) 14:00～  
場 所 ガイダンスホール  
講 師 下道基行 (アーティスト)  
料 金 要観覧券  
参加人数 33 名



### ■太郎の写真から「てつがく」する

進 行 神戸和佳子 (哲学)、楠本亜紀 (写真批評)  
場 所 企画展示室・アトリエ  
日 時 2018 年 6 月 24 日 (日) 14:00～16:00  
参加人数 13 名

## 【出品リスト】

## ■写真

No.	章 型	作品名	撮影地	撮影年	制作時の展覧会	モダンプリント制作年
1	第一章 道具／どうぐ	縄文土器（東京国立博物館／長野県出土）	東京	1956	日本発見	2001
2		縄文土器（東大人類学教室／山梨県出土）	東京	1956	日本発見	2001
3		1 縄文土器（東大人類学教室／富山県出土）	東京	1956	CHIKAKU	2006
4		縄文土器（東京国立博物館）	東京	1956	CHIKAKU	2006
5		縄文土器（東大人類学教室／埼玉県出土）	東京	1956	CHIKAKU	2006
6		縄文土器（東大人類学教室）	東京	1956	CHIKAKU	2006
7		縄文土器（明大考古学陳列館／千葉県出土）	東京	1956	CHIKAKU	2006
8	第二章 道具	高知市本丁筋・火曜市	高知	1957	日本発見	2001
9		いづめっこ一飯詰に入った赤ん坊	秋田	1957	藝術風土記	2007
10		雪ふみする少女（横手）	秋田	1957	藝術風土記	2007
11		2 行商人の籠（島原港）	長崎	1957	藝術風土記	2007
12		扇子ほす	京都	1957	藝術風土記	2007
13		基衝棺の副葬品・守刀の柄の飾り（鹿の角）	岩手	1957	藝術風土記	2007
14		漁具（擬似針）	四国	1957	藝術風土記	2007
15		美しい形のヤス	四国	1957	藝術風土記	2007
16		味噌ふみつまご（盛岡）	岩手	1957		2011
17		前田製紙工場・土佐和紙	高知	1957	日本発見	2001
18		蓮池	高知	1957	日本発見	2001
19		3 芭蕉の糸をつむぐ	沖縄／大宜味村	1959	日本発見	2001
20		手しごと 紅型	沖縄	1959	日本発見	2001
21		紅型	沖縄	1959	日本発見	2001
22		壺屋	沖縄／壺屋	1959	日本発見	2001
23		糸満	沖縄／糸満	1959	日本発見	2001
24	友禅ほす	京都	1957	藝術風土記	2007	
25	第四章 生活	佐賀の農家	佐賀	1957	藝術風土記	2007
26		お墓の石塔の上にイカが干してある	長崎	1957	藝術風土記	2007
27		農作業をする女性	辺野古付近	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
28		ソテツ地獄に苦しむ宮古島の貧しい農家	宮古島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
29		身繕いをする女性	久高島	1966	岡本太郎が愛した沖縄	2016
30		壺屋	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
31		第五章 街／まち	首里	沖縄	1959	多面体・岡本太郎
32	5 久高島		沖縄／久高島	1959	日本発見	2001
33	ジャグル		メキシコ	1967	岡本太郎とメキシコ	2002
34	清水寺付近		京都	1957	藝術風土記	2007

35		松江城の堀に沿った城見畷の一角・ 武家屋敷そのままの門構え	出雲	1957	藝術風土記	2007
36		首里	沖縄	1959	写真展 岡本太郎の視線	2005
37		平和公園	広島	1963	記憶の島	2012
38		荷物を頭の上に乗せて運ぶ女性	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
39		石垣島の町並み	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
40		働く女性	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
41		竹富島の老人	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
42		竹富島の老人	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
43		竹富島の道	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
44		石垣と白い道	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
45		白い道に行く	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
46		石垣の市場	沖縄／石垣島	1959	日本発見	2001
47		メルカド・メディシノス 果物市場	メキシコ	1967	日本発見	2001
48		オハカの市場	メキシコ	1967	日本発見	2001
49		メキシコ	メキシコ	1963	日本発見	2001
50	6	那覇の街頭にて	沖縄／那覇	1959	写真展 岡本太郎の視線	2005
51	市場	牧志公設市場	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
52		牧志公設市場	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
53		牧志公設市場	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
54		市場の風景	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
55		市場	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
56		雨の日	大阪／中之島付近	1957	多面体・岡本太郎	1999
57		町	京都	1957	日本発見	2001
58		清水寺付近	京都	1957	日本発見	2001
59		問屋街	大阪	1957	日本発見	2001
60		市大病院	大阪	1957	日本発見	2001
61		鴨居羊子の作る下着	大阪	1957	日本発見	2001
62	7	中之島付近	大阪	1957	日本発見	2001
63	都市	古座	コザ市 (現：沖縄市)	1959	日本発見	2001
64		通天閣	大阪	1957	藝術風土記	2007
65		鴨居羊子の作る下着	大阪	1957	藝術風土記	2007
66		通天閣のてっぺんから	大阪	1957	藝術風土記	2007
67		ソウル	ソウル	1977	岡本太郎が見た韓国	2008
68		コザの街	コザ市 (現：沖縄市)	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
69		コザの街	コザ市 (現：沖縄市)	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016

70		造花と花瓶	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
71		田麦俣（出羽三山）	山形	1962	日本発見	2001
72		興福寺（大雄宝殿）	長崎	1957	藝術風土記	2007
73		グラバー邸	長崎	1957	藝術風土記	2007
74		軒上の魔除け	京都	1957	藝術風土記	2007
75		出雲大社・本殿	出雲	1957	藝術風土記	2007
76		本殿・背面	出雲	1957	藝術風土記	2007
77		清水寺・本坊	出雲	1957	藝術風土記	2007
78		紙を干す・八束郡八雲村	出雲	1957	藝術風土記	2007
79	8	室戸岬海岸の家・風よけの石垣	四国	1957	藝術風土記	2007
80	屋根	水きりの小庇をつけた民家	四国	1957	藝術風土記	2007
81		武蔵野・深大寺の屋根	日本文化と風土	1957	藝術風土記	2007
82		濟州島	韓国／濟州島	1964	岡本太郎が見た韓国	2008
83		ソウル郊外	ソウル郊外	1964	岡本太郎が見た韓国	2008
84		西大門、硯底洞、国師堂への道	ソウル	1977	岡本太郎が見た韓国	2008
85		あだし野へ（車窓）	京都	1965	記憶の島	2012
86		壺屋焼・新垣家	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
87		シーサー	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
88		赤瓦の屋根と石垣	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
89	第三章	竹林寺	高知	1957	日本発見	2001
90	境界／さかい	もと唐人屋敷あと・館内町付近	長崎	1957	藝術風土記	2007
91		四国・札所（五台山・竹林寺）	四国	1957	藝術風土記	2007
92	9	お水取り	東大寺	1965	太郎の祭り	2010
93	階段・門	千鳥城（松江）	島根	1957	日本発見	2001
94		中城城跡	中城	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
95		崎原嶽	石垣島・崎原公園	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
96		拝所	石垣島・白保	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
97		拝所	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
98		梅田駅付近	大阪	1957	日本発見	2001
99		高野山 天徳院庭園	和歌山	1955	日本発見	2001
100		三次	三次／広島	1963	「明日の神話」完成への道	2006
101	10	修理中の眼鏡橋	長崎	1957	藝術風土記	2007
102	水	慶長小袖（桂女の衣裳）部分	京都	1957	藝術風土記	2007
103		宍道湖畔・舟小屋	出雲	1957	藝術風土記	2007
104		道頓堀	大阪	1957	藝術風土記	2007
105		漁船（御豊瀬港）	四国	1957	藝術風土記	2007



106		高知県御豊瀬港にて (鯉箆)	四国	1957	藝術風土記	2007
107		八丁堀	東京	1956	記憶の島	2012
108		西芳寺・夜泊石	京都	1955	日本発見	2001
109		ジャグル	メキシコ	1967	岡本太郎とメキシコ	2002
110		松鶴里のチャンスン	公州	1977	岡本太郎が見た韓国	2008
111	木	西芳寺	京都	1955		2011
112		出羽三山	山形	1962		2011
113		むし (青森県下古川)	青森	1962	シャーマニズム	2013
114		久高島	沖縄／久高島	1966		2014
115		大御嶽	沖縄／久高島	1959		2014
116		中城城跡	中城	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
117		石垣島の古木	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
118		三途の川ので蔵	青森	1962	日本発見	2001
119		石神	奈良	1962	日本発見	2001
120		コアトリクエ像 (国立人類学博物館)	メキシコ	1967	岡本太郎とメキシコ	2002
121	石	カバ	メキシコ	1967	岡本太郎とメキシコ	2002
122		ウシュマル	メキシコ	1967	岡本太郎とメキシコ	2002
123		街角にて	長崎	1957	藝術風土記	2007
124		浦上天主堂跡	長崎	1957	藝術風土記	2007
125		万治の石仏	諏訪	1974	太郎の祭り	2010
126		斎場御嶽	沖縄／知念村	1959		2011
127		大御嶽	沖縄／久高島	1959		2011
128		なまはげ	秋田	1957	多面体・岡本太郎	1999
129		熊野 古座河内祭の獅子舞	和歌山	1963	多面体・岡本太郎	1999
130		壬生 花田植え	広島	1963	多面体・岡本太郎	1999
131	祭 り	岩手・鹿踊り (花巻)	岩手	1957	多面体・岡本太郎	1999
132		鹿踊りの面	岩手	1957	多面体・岡本太郎	1999
133		イザイホー	沖縄／久高島	1966	日本発見	2001
134		アシャギ家の前で祈りを捧げる島の女	沖縄／久高島	1966	日本発見	2001
135		恐山の山頂をめざす「おばあさん」たち	青森	1962	日本発見	2001
136		川倉のイタコの口よせ	青森	1962	日本発見	2001
137		オシラさま	青森・八戸	1962	日本発見	2001
138		オシラさま	青森／田名部	1962	日本発見	2001
139		出羽三山 羽黒山の松例祭	山形	1962	日本発見	2001
140		イザイホー／夜に続く神事	沖縄／久高島	1966	CHIKAKU	2005
141	威儀を正して挨拶し、お神酒をふるまう	秋田	1957	藝術風土記	2007	

142		出雲・神代神楽・大蛇	出雲	1957	藝術風土記	2007	
143		四国・阿波おどり	四国	1957	藝術風土記	2007	
144		阿波おどり	四国	1957	藝術風土記	2007	
145		獅子踊り	一野渡	1962	太郎の祭り	2010	
146		鞍馬火祭り	鞍馬	1963	太郎の祭り	2010	
147		横手ぼんでん	秋田	1957		2011	
148		青森／荒馬（金木町）	青森／金木町	1962		2011	
149		淡島さま（青森県孫内）	青森	1962	シャーマニズム	2013	
150		久高のろの子息	沖縄／久高島	1959		2014	
151	第四章 人／ひと	土偶（横浜市出土）	東京	1956	多面体・岡本太郎	1999	
152		阿波人形初代天狗久作	阿波	1957	日本発見	2001	
153		文楽座前で開場を待つ人	大阪	1957	藝術風土記	2007	
154		文楽座前	大阪	1957	藝術風土記	2007	
155		大阪・文楽座前	大阪	1957	藝術風土記	2007	
156		14	箱まわしの小さな人形の首	四国	1957	藝術風土記	2007
157		人形	徳島高校生のつかう巡礼お鶴	四国	1957	藝術風土記	2007
158		鳳山仮面劇	ソウル	1977	岡本太郎が見た韓国	2008	
159		鳳山仮面劇	ソウル	1977	岡本太郎が見た韓国	2008	
160		崔常寿仮面コレクション	韓国	1977	岡本太郎が見た韓国	2008	
161		土偶（群馬県出土）	東京	1956	太郎の祭り	2010	
162		土偶（井戸尻考古館）	長野	1974		2011	
163		清水寺付近	京都	1957	日本発見	2001	
164		首里	沖縄／首里	1959	日本発見	2001	
165	岩手 種畜牧場	岩手	1957	北に澄む村上善男	2005		
166	15	盛岡 太鼓屋	岩手	1957	北に澄む村上善男	2005	
167	動物	いぬっこ（しんこ細工）	秋田	1957	藝術風土記	2007	
168	興福寺の魚板	長崎	1957	藝術風土記	2007		
169	大阪・島之内	大阪	1957	藝術風土記	2007		
170	十二支神像	韓国／慶州	1964	岡本太郎が見た韓国	2008		
171	鳳山仮面劇	ソウル	1977	岡本太郎が見た韓国	2008		
172	久高島	沖縄／久高島	1959		2014		
173	16	読谷	沖縄	1959	多面体・岡本太郎	1999	
174	こ	久高島	沖縄	1959	多面体・岡本太郎	1999	
175	ど	登校する子供たち（飯田川）	秋田	1957	多面体・岡本太郎	1999	
176	も	横手かまくら	秋田	1957	日本発見	2001	
177		横手ぼんでん	秋田	1957	日本発見	2001	

178		少年	京都	1957	日本発見	2001
179		町並み	京都	1957	日本発見	2001
180		山手	長崎	1957	日本発見	2001
181		稲佐・国際墓地	長崎	1957	日本発見	2001
182		いるか漁	沖縄／数久田	1959	日本発見	2001
183		かまくらを作る少女（横手）	秋田	1957	藝術風土記	2007
184		久高島	沖縄／久高島	1959		2014
185		久高島	沖縄／久高島	1966		2014
186		当時の銭湯	宮古島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
187		大徳寺・孤蓬庵	京都	1954	日本発見	2001
188		久高島の老人	沖縄／久高島	1959	日本発見	2001
189		糸満港	沖縄／糸満	1959	日本発見	2001
190		久高のろ	沖縄／久高島	1959	日本発見	2001
191		トラコルーラの市場	メキシコ	1967	岡本太郎とメキシコ	2002
192	17	剣舞の若者（二子村）	岩手	1957	北に澄む村上善男	2005
193	人	角巻きの女	秋田	1957	藝術風土記	2007
194		久高のろの入墨した手	沖縄／久高島	1959		2014
195		白銀堂	糸満	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
196		石柱によりそう老婆	糸満	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
197		久高のろ	久高島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
198		竹富島の翁	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
199		竹富島の老女	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
200		伏見稲荷の祭	京都	1957	日本発見	2001
201		金武の井戸	沖縄／金武	1959	日本発見	2001
202		山羊焼き	沖縄／石垣島	1959	日本発見	2001
203		香港	香港	1966	日本発見	2001
204		対岸の造船所	長崎	1957	藝術風土記	2007
205	18	茶屋辻の小袖・部分	京都	1957	藝術風土記	2007
206	集	松江の牛市	出雲	1957	岡本太郎-芸術に挑んだ親 子・かの子・一平・太郎	2005
207	い	北海道（苫小牧）	北海道	1965	記憶の島	2012
208		糸満の浜	沖縄／糸満	1959		2014
209		糸満の漁港	沖縄／糸満	1959		2014
210		金武の井戸	金武	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
211		那覇泊港	那覇	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
212		登野城海岸	石垣島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016

213		伝統の踊りを見る人々	竹富島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016
214		宮古港	宮古島	1959	岡本太郎が愛した沖縄	2016

## ■油彩・彫刻

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵（記載の無いものは岡本太郎美術館蔵）
1	予感	岡本太郎	1963	油彩・キャンバス	
2	赤のアイコン	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス	
3	建設	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	
4	重工業	岡本太郎	1949	油彩・キャンバス	
5	翔ぶ赤	岡本太郎	1979	油彩・キャンバス	
6	石と樹Ⅱ	岡本太郎	1983	油彩・キャンバス	
7	夜	岡本太郎	1947	油彩・キャンバス	
8	装える戦士	岡本太郎	1962	油彩・キャンバス	
9	傷ましき腕	岡本太郎	1936/1949 再制作	油彩・キャンバス	
10	マスク	岡本太郎	1959	油彩・キャンバス	
11	縄文人	岡本太郎	1982	FRP	
12	鳥	岡本太郎	1963	RC	
13	湧き上がる	岡本太郎	1989	ブロンズ	
14	五大陸	岡本太郎	1967	FRP	
15	夢の樹	岡本太郎	1983	FRP	
16	祭り	岡本太郎	1985	FRP	
17	呼ぶA	岡本太郎	1990	FRP	
18	呼ぶB	岡本太郎	1990	FRP	
19	踊り	岡本太郎	1982	FRP	
20	動物	岡本太郎	1983	FRP	
21	邂逅	岡本太郎	1971	FRP	
22	ペンすなっぶ めい作展 出品パネル 「那智の火祭り」	岡本太郎	1964		
23	ペンすなっぶ めい作展 出品パネル(9点)	岡本太郎			
24	コンタクトアルバム「滞欧スナップ 1953」	岡本太郎	1952-1953		
25	コンタクトアルバム「風土記 近畿・中部」	岡本太郎	1953-1957		
26	コンタクトアルバム「風土記 関東・東北」	岡本太郎	1954-1958		
27	コンタクトアルバム「風土記 中国・四国」	岡本太郎	1957		
28	コンタクトアルバム「九州」	岡本太郎	1955-1971		

29	コンタクトアルバム「沖縄」	岡本太郎	1959
30	コンタクトアルバム「日本の神秘 西」	岡本太郎	1955-1963
31	コンタクトアルバム「日本の神秘 東」	岡本太郎	1962
32	岡本太郎旧蔵カメラ	岡本太郎	

## 企画展

### 「街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界」展

会 期	2018 年 7 月 14 日(土)～9 月 24 日(月祝)
開催日数	62 日
主催	川崎市岡本太郎美術館
協力	岡本太郎記念館、株式会社大和証券グループ本社、高島屋史料館、 日本工業大学先進工学部先進工学部情報メディア学科、 東京藝術大学バシエ音響彫刻修復プロジェクト、バシエ協会、 有限会社デジアート
観覧料	一般 900 (720) 円、高・大学生・65 歳以上 700 (560) 円、中学生以下無料 ※カコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	16,793 名
1 日平均	270 名
図 録	B5
ポスター	B2
チラシ	A4
出品点数	110 点
担当者	大杉浩司、篠原優、橋本文恵



図録



チラシ



#### 【開催趣旨】

岡本太郎の多面的な活動の中で、公園や学校などパブリックな空間に創作した作品は、全国に 70 ヶ所 140 以上に及ぶ。岡本は、作品が個人の所有物となることを拒みつづけ、誰でもいつでも見ることの出来るパブリックな空間に作品を創り続けた。そこには「芸術のための芸術」ではなく、芸術が我々の日常空間にあって社会と人間とをつなげる不可欠な存在であるという彼の芸術理念に基づくものである。

本展は、日本万国博覧会テーマ館《太陽の塔》のリニューアルを記念して、岡本が生涯を通じて社会に打ち出したパブリック作品を俯瞰する。会場にはモザイクタイルを使った初期の作品から大阪千里の《太陽の塔》、東京渋谷の《明日の神話》をはじめとする全国津々浦々にわたる作品を、その原型、原画、スケッチ、写真等で紹介する。

場との迎合を否定し、対立することでお互いの個性を生かすという岡本の作品に込められた思いと、社会に打ち出されたメッセージを知る機会となることを趣旨とする。

#### 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

東京新聞「太郎が打ち出したパブリックアート」2018 年 6 月 29 日（金）

朝日新聞「岡本太郎「街中の芸術」全開」2018 年 7 月 6 日（金）

読売新聞「「太陽の塔」制作過程紹介」2018 年 7 月 15 日（日）

神奈川新聞「公共空間彩る岡本作品 「明日の神話」原画など 170 点」2018 年 8 月 2 日（木）

## 【関連事業】

### ■高田みどり バシエ音響彫刻コンサート

日 時 2018年7月22日(日) 15:00~16:00  
場 所 企画展示室  
出 演 高田みどり(打楽器奏者・作曲家・舞台芸術家)  
料 金 観覧料のみ  
参加人数 275名



### ■永田砂知子 バシエ音響彫刻コンサート

日 時 2018年7月29日(日) 15:00~16:00  
場 所 企画展示室  
出 演 永田砂知子(打楽器奏者・即興演奏家)  
料 金 観覧料のみ  
参加人数 285名



### ■バシエ音響彫刻レクチャーと音響体験

日 時 2018年7月21日(土) 13:00~14:00 音響体験 14:15~15:00  
7月28日(土) 13:00~14:00 音響体験 14:15~15:00  
場 所 ガイダンスルーム、企画展示室  
講 師 川崎義博(サウンドアーティスト、サウンドデザイナー)  
料 金 観覧料のみ  
参加人数 42名

### ■甦れ!!バーチャルリアリティ 太陽の塔

日 時 2018年8月11日(土)~8月19日(日) 11:00~16:30  
場 所 企画展示室  
講 師 日本工業大学先進工学部情報メディア学科学生  
料 金 観覧料のみ  
参加人数 約1,600名



### ■モザイクアートを作ろう!!

日 時 2018年9月10日(月祝)、11日(火) 10:00~16:00  
場 所 美術館ギャラリー  
講 師 専修大学学生  
料 金 1枚300円  
参加人数 219名



### ■展覧会ギャラリートーク

日 時 2018年①8月26日(日)、②9月16日(日)、③9月24日(月祝)  
14:00~14:45  
参加人数 ①34名 ②103名 ③56名



## ■映画「太陽の塔」試写会

日 時 2018 年 9 月 8 日(日) 14:00～15:30

料 金 無料

参加人数 63 名



## 【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵(記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1	創生	岡本太郎	1952	油彩・キャンバス	高島屋史料館
2	青春	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
3	娘と犬	岡本太郎	1962	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
4	空の散歩	岡本太郎	1962	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
5	青春	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
6	足	岡本太郎	1964	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
7	手	岡本太郎	1964	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
8	眼	岡本太郎	1964	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
9	日の壁	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
10	建築	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
11	青	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
12	緑	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
13	明日の神話	岡本太郎	1968	油彩・キャンバス	
14	躍進	岡本太郎	1972	油彩・キャンバス	
15	記念撮影	岡本太郎	1975	油彩・キャンバス	
16	天に舞う	岡本太郎	1974	油彩・キャンバス	
17	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1979	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
18	海辺の太陽	岡本太郎	1980	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
19	見つめ合う眼	岡本太郎	1990	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
20	群像	岡本太郎	1952	モザイクタイル	岡本太郎記念館
21	太陽の神話	岡本太郎	1952	モザイクタイル	大和証券グループ
22	駆ける	岡本太郎	1958	クラッシュタイル	
23	花ひらく	岡本太郎	1958	クラッシュタイル	
24	遊ぶ	岡本太郎	1958	クラッシュタイル	



25	太陽の塔イメージスケッチ	岡本太郎	1967	レプリカ	岡本太郎記念館
26	若い時計台イメージスケッチ	岡本太郎	1966	紙・鉛筆	
27	生命の樹		1968	紙・鉛筆	
28	太陽の塔青焼き図面		1970	紙	
29	マミ会館青焼き図面		1966	紙	
30	日の壁	岡本太郎	1956	FRP	
31	星・花・人	岡本太郎	1971	木、LED	
32	天に舞う	岡本太郎	1974	FRP	
33	あしあと広場	岡本太郎	1978	FRP	
34	躍進	岡本太郎	1972	FRP	
35	安曇野	岡本太郎	1988	FRP	
36	いのち踊る	岡本太郎	1983	陶版	
37	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1979	FRP	
38	顔	岡本太郎	1952	陶	
39	誇り	岡本太郎	1961	FRP	
40	動物	岡本太郎	1959	コンクリート	
41	若い時計台	岡本太郎	1966	コンクリート・金属・時計	
42	マミ会館	岡本太郎	1968	FRP	
43	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ	
44	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP	
45	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP	
46	万博の鍵	岡本太郎	1970	FRP	
47	青春の塔	岡本太郎	1970	FRP	
48	戦士	岡本太郎	1970	FRP	
49	太陽の鐘(模型)	岡本太郎	2014	FRP	
50	五大陸	岡本太郎	1967	FRP	
51	躍動の門	岡本太郎	1993	FRP	
52	若い夢	岡本太郎	1974	FRP	
53	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	FRP	
54	歓び	岡本太郎	1978	FRP	
55	月の顔	岡本太郎	1981	FRP	

56	未来を拓く	岡本太郎	1987	FRP
57	躍動	岡本太郎	1981	FRP
58	乙女	岡本太郎	1988	FRP
59	太陽	岡本太郎	1985	FRP
60	躍動の門	岡本太郎	1993	FRP
61	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP
62	神話	岡本太郎	1980	FRP
63	夢の樹	岡本太郎	1983	FRP
64	縄文人	岡本太郎	1982	FRP
65	喜び	岡本太郎	1969	FRP
66	平和を呼ぶ	岡本太郎	1988	FRP
67	河童像	岡本太郎	1981	FRP
68	母の塔	岡本太郎	1971	FRP
69	呼ぶ 赤	岡本太郎	1981	FRP
70	呼ぶ 青	岡本太郎	1981	FRP
71	未来を拓く	岡本太郎	不明	石膏
72	月の顔	岡本太郎	不明	石膏
73	河童	岡本太郎	不明	石膏
74	躍動の門	岡本太郎	1993	石膏
75	乙女	岡本太郎	1988	石膏
76	誇り	岡本太郎	不明	石膏

## 企画展

### 「イサム・ノグチと岡本太郎—越境者たちの日本」展

会 期	2018年10月6日(土)～2019年1月14日(月祝)
開催日数	82日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、 日本テレビ放送網
協 力	堀内カラー
観 覧 料	一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上 800(640)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入 場 者 数	22,706名
1日平均	277名
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	約200点
担 当 者	佐々木秀憲、篠原優
監 修	新見隆(大分県立美術館 館長)



図録



チラシ



展示風景

#### 【開催趣旨】

イサム・ノグチと岡本太郎とは、1950年、日本アヴァンギャルド美術家クラブの主催により東中野のレストラン「モナミ」で開催されたイサム・ノグチの歓迎会において、初めて出会いました。日米の間で自己のアイデンティティに関する葛藤と向き合い引き裂かれながらも、彫刻家として世界的に活躍したイサム・ノグチと、青年期の10年間をパリで活躍しながらも大戦の為に日本に戻り引き裂かれ、日本の芸術界を異邦人としての眼で見ることができた岡本太郎は、それぞれに欧米で芸術家として活躍し始め、越境者として日本文化を見つめ、新たな表現活動を展開しました。同世代の二人の個性的な芸術家が日本の美術に触発されて制作した作品は、共に戦後の芸術界に大きな影響を及ぼしました。

本企画展は、イサム・ノグチと岡本太郎という個性の異なる二人の越境者の作品を通して、「日本」あるいは「日本美」とは何かについて再確認するための機会として開催しました。

#### 【主要関連記事・TV・ラジオ放送】

- ・「「粹」破った2人の日本美 イサム・ノグチと岡本太郎」、『読売新聞』2018年10月7日(日)
- ・小野明男「疲弊した人間性を蘇生 イサム・ノグチと岡本太郎企画展」、『神奈川新聞』2018年10月13日(土)
- ・山根聡「「非西洋」日本に立脚 世界の人々勇気づけ」、『産経新聞』2018年12月9日(日)
- ・「企画展「イサム・ノグチと岡本太郎—越境者たちの日本」」、『LANDSCAPE DESIGN No.124』2018年12月26日、株式会社マルモ出版

## 【関連事業】

### ■記念講演会「萬來舎とノグチ・ルーム」

イサム・ノグチがデザインした「ノグチ・ルーム」の成立と移転・保存についての講演。

日 時 2018年11月4日(日) 14:00~16:00  
 場 所 ガイダンスホール  
 出 演 渡部葉子(慶應義塾大学アート・センター教授)  
 料 金 無料  
 参加人数 50名



### ■記念講演会「イサム・ノグチとクルト・セリグマン

#### —並行し収斂する人生、そしてユネスコ庭園プロジェクト」

イサム・ノグチと岡本太郎の共通の友人であるクルト・セリグマンとの影響関係とユネスコ庭園プロジェクトに関する講演。

日 時 2018年11月25日(日) 14:00~16:00  
 場 所 ガイダンスホール  
 出 演 グラジナ・スベリテェ(ヴェネツィア・グッゲンハイム美術館 学芸員)  
 通 訳 サスキア・トゥーレン(ジャポニスム学会 会員)  
 料 金 無料  
 参加人数 60名



## 【出品リスト】

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵(記載の無いものは岡本太郎美術館蔵)
1	邂逅	岡本太郎	1971	FRP	
2	コンポジション	ハンス(ジャン)・アルプ	1973(1930)	シルクスクリーン・紙	
3	青いフォルム	ソフィー=トイヴァー・アルプ	1973(1935)	シルクスクリーン・紙	
4	Y=X <sup>2</sup> +bx+c 赤・緑	ジョルジュ・ヴァントングルロー	1973(1933)	シルクスクリーン・紙	
5	コンポジション	アレキサンダー・カルダー	1973(1932)	リトグラフ・紙	
6	リズム—色彩 No. 816	ソニア・ドローネー=テルク	1973(1936)	シルクスクリーン・紙	
7	コンポジション	ヴァシリー・カンディンスキー	1973(1932)	シルクスクリーン・紙	
8	構成	ラースロー・モホイ=ナジ	1973(1932)	シルクスクリーン・紙	
9	コンポジション D	ピエト・モンドリアン	1973(1932)	シルクスクリーン・紙	
10	コンポジション	テオ・ファン・ドゥースブルフ	1973(1930)	シルクスクリーン・紙	
11	コンポジション	ジェラルド・ヴェリアミ	1973(1933)	リトグラフ・紙	
12	空間	岡本太郎	1973(1934)	リトグラフ	
13	傷ましき腕	岡本太郎	1936(1949)	油彩・キャンバス	
14	夜	岡本太郎	1947	油彩・キャンバス	
15	La Parachutiste	クルト・セリグマン	1934	エッチング	
16	Le pecheur	クルト・セリグマン	1934	エッチング	

17	L'epoux	クルト・セリグマン	1934	エッチング	
18	Les voyageurs	クルト・セリグマン	1934	エッチング	
19	Le roi du charbon	クルト・セリグマン	1934	エッチング	
20	La sorciere	クルト・セリグマン	1934	エッチング	
21	L'ermite	クルト・セリグマン	1934	エッチング	個人蔵
22	失題	下郷羊雄	1942	油彩・板	
23	海辺	岡本太郎	1954	油彩・キャンバス	
24	美女と野獣	岡本太郎	1949	油彩・キャンバス	
25	二人	岡本太郎	1948	油彩・キャンバス	
26	黒い太陽	岡本太郎	1949	油彩・キャンバス	
27	森の掟	岡本太郎	1950	油彩・キャンバス	
28	喫煙者	岡本太郎	1951	油彩・キャンバス	
29	まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩・キャンバス	
30	歩く人	岡本太郎	1952	油彩・キャンバス	
31	作家	岡本太郎	1948	油彩・キャンバス	
32	駄々っ子	岡本太郎	1951	油彩・キャンバス	
33	夢の鳥	岡本太郎	1951	油彩・キャンバス	
34	顔	岡本太郎	1952	陶	
35	青空	岡本太郎	1954	油彩・キャンバス	
36	重工業	岡本太郎	1949	油彩・キャンバス	
37	樹人	岡本太郎	1951	油彩・キャンバス	
38	クリマ	岡本太郎	1951	油彩・キャンバス	
39	天空に我あり	岡本太郎	1967	油彩・キャンバス	
40	群像	岡本太郎	1949	油彩・キャンバス	岡本太郎記念館
41	マミ会館	岡本太郎	1968	FRP	
42	万博の鍵	岡本太郎	1970	FRP	
43	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP	
44	戦士	岡本太郎	1970	FRP	
45	天に舞う	岡本太郎	1974	FRP	
46	風	岡本太郎	1975	油彩・板	
47	めざめ	岡本太郎	1975	油彩・板	
48	太陽と月	岡本太郎	1975	油彩・金属・板	
49	いこい	岡本太郎	1975	油彩・FRP・板	
50	赤	岡本太郎	1975	油彩・板	
51	駄々っ子(椅子・赤)	岡本太郎	1967	FRP	
52	駄々っ子(椅子・緑)	岡本太郎	1967	FRP	

53	手の椅子 (赤)	岡本太郎	1967	FRP	
54	手の椅子 (黄)	岡本太郎	1967	FRP	
55	マスク	岡本太郎	1970	FRP	
56	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶	
57	花びらの椅子	岡本太郎	1970	FRP	
58	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1873	FRP	
59	ティーテーブル・遊び	岡本太郎	1967	合板・金属	
60	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木・ロープ	
61	顔の椅子	岡本太郎	1953	木	
62	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス	
63	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス	
64	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1967	ブロンズ	
65	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム	
66	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	FRP・鉄	
67	夢の樹	岡本太郎	1983	FRP	
68	こどもの樹	岡本太郎	1985	FRP	
69	太陽	岡本太郎	1985	FRP	
70	樹人	岡本太郎	1971	FRP	
71	横たわる	岡本太郎	1981	陶	
72	踊り	岡本太郎	1982	陶	
73	むすめ	岡本太郎	1982	陶	
74	歓喜	岡本太郎	1977	陶	
75	渾沌	岡本太郎	1979	陶	
76	雷神	岡本太郎	1978	陶	
77	黒い顔	岡本太郎	1968	FRP	
88	クメール	イサム・ノグチ	1961	ブロンズ	香川県立ミュージアム
89	スタンディング・ヌード・ユース	イサム・ノグチ	1930	参考パネル	
90	観音立像	岡本太郎	1950年代	紙本彩色	
91	三本足の花器	イサム・ノグチ	1952	陶	一般社団法人 草月会
92	フットツボ	イサム・ノグチ	1952	陶	一般社団法人 草月会
93	かぶと	イサム・ノグチ	1952	陶	一般社団法人 草月会
94	光る彫刻	岡本太郎	1967	FRP	
95	あかり	イサム・ノグチ	1953～	紙・竹・木	香川県立ミュージアム
96	装える戦士	岡本太郎	1964	油彩・キャンバス	
97	明日の神話	岡本太郎	1968	油彩・キャンバス	
98	広島原爆慰霊碑の習作模型	イサム・ノグチ	1952-82	石膏	NY・イサム・ノグチ財団

99	動物	岡本太郎	1956	コンクリート	
100	鳥	岡本太郎	1960	コンクリート	
101	サカナ	岡本太郎	1960	コンクリート	
102	風神	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス	
103	予感	岡本太郎	1963	油彩・キャンバス	
104	記念撮影	岡本太郎	1975	油彩・キャンバス	
105	アトリエのブランクーシ・パリ 15 区ロンサン通り 8 番地	コンスタンティン・ブランクーシ	1924-25 年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
106	アトリエの光景、《無限柱》	コンスタンティン・ブランクーシ	1925	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
107	アトリエの光景、《空間の鳥》	コンスタンティン・ブランクーシ	1923 年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
108	アトリエの光景、《雄鶏》	コンスタンティン・ブランクーシ	1941-42 年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
109	アトリエの光景、《無限柱》	コンスタンティン・ブランクーシ	1925 年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
110	アトリエの光景、《空間の鳥》	コンスタンティン・ブランクーシ	1923 年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館
111	岡本可亭	-	不詳	参考パネル	
112	実験茶会	-	1955	参考パネル	
113	ジャコメッティの肖像	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント	
114	ハンス(ジャン)・アルプの肖像	岡本太郎	1952	ゼラチン・シルバー・プリント	
115	個我	イサム・ノグチ	1956	鑄鉄	一般社団法人 草月会
116	えらいやっっちゃほい	イサム・ノグチ	1931	テラコッタ	公益財団法人 イサム・ノグチ日本財団
117	ジョエラ・レヴィの肖像	イサム・ノグチ	1929	ブロンズ	香川県立ミュージアム
118	ジョン・オールデン・カーペンターの肖像	イサム・ノグチ	1932	石膏	香川県立ミュージアム
119	リトルスレート	イサム・ノグチ	1945-74	ブロンズ	香川県立ミュージアム
120	ミラー	イサム・ノグチ	1944-1994	ブロンズ	香川県立ミュージアム
121	ヘロディアド映像	マーサ・グラハム	1944	DVD	マーサ・グラハム財団
122	化身	イサム・ノグチ	1947	ブロンズ	NY・イサム・ノグチ財団
123	詩集『水たまり』挿絵 3 点	クルト・セリグマン	1936	エッチング	
124	空間	岡本太郎	1934(1954)	油彩・キャンバス	
125	瓶と巻き髭	ハンス(ジャン)・アルプ	1923-26	油彩・レリーフ・厚紙	横浜美術館
126	サカナ	岡本太郎	1973	油彩・キャンバス	
127	成長	ハンス(ジャン)・アルプ	1938	ブロンズ	横浜美術館
128	愛	岡本太郎	1961	コンクリート	
129	大野外オベラ「ローエン格林」装置映像	岡本太郎	1959	DVD	
130	同上写真パネル	岡本太郎		ゲータボード貼り	
131	ドラマ	岡本太郎	1958	油彩・キャンバス	
132	織部鱗文皿	北大路魯山人	1950	陶	個人蔵

133	私がつくったのではない世界	イサム・ノグチ	1952	陶	一般社団法人 草月会
134	顔(小)	岡本太郎	1951	陶	
135	スモーキング・セット	岡本太郎	1952	陶器	
136	信楽鮑大鉢	北大路魯山人	1941	陶	個人蔵
137	日輪	岡本太郎	1987	陶器	
138	ひまわり	イサム・ノグチ	1952	陶	一般社団法人 草月会
139	フェンス	イサム・ノグチ	1952	陶	一般社団法人 草月会
140	無題	イサム・ノグチ	1952	陶・木	高松市美術館
141	ヴァージン	イサム・ノグチ	1950	陶	公益財団法人イサム・ノグチ日本財団
142	こいびと	イサム・ノグチ	1950	テラコッタ	香川県立ミュージアム
143	暑い日	イサム・ノグチ	1950	陶・木	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
144	おかめ	イサム・ノグチ	1956	鋳鉄・木	一般社団法人 草月会
145	女(リシ・ケシュにて)	イサム・ノグチ	1956	鋳鉄	NY・イサム・ノグチ財団
146	おかめ	イサム・ノグチ	1956	鋳鉄・木	一般社団法人 草月会
147	建設	岡本太郎	1956	油彩・キャンバス	
148	赤	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス	
149	日の壁(レプリカ)	岡本太郎	1956	FRP	
150	新萬來舎(模型)	建築家		ミクスト・メディア	個人蔵
151	慶應義塾大学 第二研究室 図面一式	建築図面	1950	紙	慶應義塾大学
152	慶應義塾大学 第二研究室 写真一式	平山忠治	1950	パネル	
153	鉄製武蔵野行燈	北大路魯山人	1950	鉄・紙・電球	しぶや黒田陶苑
154	色絵魚藻文電気スタンド	北大路魯山人	1950年頃	磁器・布・電球	しぶや黒田陶苑
155	あかり1点	イサム・ノグチ	1953~	紙・木	香川県立ミュージアム
156	桂離宮の写真3点	岡本太郎	1954	ゼラチン・シルバー・プリント	
157	ラウンジチェア(イージーチェア No. C-316)	剣持 勇	1960-1972	籐・クッション	武蔵野美術大学 美術館・図書館
158	スタッキングスツール	剣持 勇	1955	ブナ材・布張り	武蔵野美術大学 美術館・図書館
159	ひも椅子	渡辺 力	1950-52	ナラ材・綿紐・布張りクッション	武蔵野美術大学 美術館・図書館
160	トリスツール	渡辺 力	1956-97	籐張り	武蔵野美術大学 美術館・図書館
161	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木・紐・金属	
162	縄文土器の写真5点	岡本太郎	1956	ゼラチン・シルバー・プリント	



163	日本庭園の写真5点	岡本太郎	1954	ゼラチン・シルバー・プリント	
164	スツール	岡本太郎	1967	木・布・アルミニウム	
165	原色卓	岡本太郎	1967	合板・金属	
166	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス	
167	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス	
168	夢の鳥	岡本太郎	1977	磁器	
169	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック	
170	新萬來舎のためのコーヒー・ テーブル、スツール	イサム・ノグチ+剣持勇	1951	木	慶應義塾大学
171	ラジオ・ナース	イサム・ノグチ	1937	ベークライト・電気部品	香川県立ミュージアム
172	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963-98	陶	
173	哄笑	岡本太郎	1972	油彩・キャンバス	
174	2メートルのあかり	イサム・ノグチ	1985	和紙・竹・木	公益財団法人イサム・ノグチ日本財団
175	夢窓国師の教え	イサム・ノグチ	1962	ブロンズ	香川県立ミュージアム
176	龍安寺の写真5点	岡本太郎	1954	ゼラチン・シルバー・プリント	
177	五大陸	岡本太郎	1967	FRP	
178	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶	
179	千手	岡本太郎	1965	油彩・キャンバス	
180	リス	イサム・ノグチ	1944-84	ブロンズ	香川県立ミュージアム
181	道化師のような高麗人参	イサム・ノグチ	1987	ブロンズ	香川県立ミュージアム
182	神話	岡本太郎	1982	FRP	
183	沖縄・大御嶽の写真5点	岡本太郎	1959・1966	ゼラチン・シルバー・プリント	
184	沖縄・イザイホーの写真5点	岡本太郎	1966	ゼラチン・シルバー・プリント	
185	スライド・マントラの模型	イサム・ノグチ	1966-88	石膏	NY・イサム・ノグチ財団
186	黒い生きもの	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス	
187	あしあと広場	岡本太郎	1978	FRP	
188	記念撮影	岡本太郎	1975	油彩・キャンバス	
189	形だけで作る遊園地のための鋳型	イサム・ノグチ	1941	石膏	香川県立ミュージアム
190	この責め苦しめられた地球	イサム・ノグチ	1943	マグネサイト	香川県立ミュージアム
191	国連のためのプレイグラウンド	イサム・ノグチ	1951	石膏	香川県立ミュージアム
192	渾沌	岡本太郎	1962	ブロンズ	

## 企画展

### 「第 22 回岡本太郎現代芸術賞」展

会 期	2019 年 2 月 15 日(金)～4 月 14 日(日)
開催日数	51 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館 岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 700 (560) 円、高・大学生・65 歳以上 500 (400) 円、 中学生以下 無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	13,945 名
1 日平均	273 名
図 録	リーフレット A5 無料配布
ポスター	B2
チ ラ シ	長形ハガキサイズ
出品点数	25 点
担 当 者	片岡香、大杉浩司、北川裕介



リーフレット



DM



展示風景

#### 【開催趣旨】

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。

今年で22回目を迎える本賞では416点の応募があり、創造性あふれる25名（組）の作家が入選をはたしました。また最終審査を経て、太郎賞1名、敏子賞1名、特別賞3名が決定。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧いただきました。

#### 【受賞者】

岡本太郎賞	檜皮一彦	《hiwadrome: type ZERO spec3》
岡本敏子賞	風間天心	《Funetasia》
特 別 賞	國久真有	《BPM》
特 別 賞	武内カズノリ	《こちふかば (ポッチ・川崎にて)》
特 別 賞	田島大介	《無限之超大國》



檜皮一彦

《hiwadrome: type ZERO spec3》

#### 【関連記事・TV・ラジオ放送】

- 『北海道新聞』3月7日号
- 『神奈川新聞』3月18日号
- 『朝日新聞』3月25日号
- 『毎日新聞』3月27日号

## 【関連事業】

### ■出品作家によるギャラリートーク

日程・作家

- 2月16日(土) イガワ淑恵、風間天心、國久真有、田島大介、檜皮一彦  
 3月10日(日) 井口雄介、梶谷令、田中義樹、藤原史江  
 3月24日(日) 赤穂進、塩見亮介、武内カズノリ、宮内裕賀  
 4月7日(日) Art unit HUST (遠山伸吾、臼木英之)、秋山佳奈子、革命アイドル暴走ちゃん、吉田絢乃  
 4月14日(日) 大槌秀樹、佐野友紀、服部正志、本堀雄二、宮田彩加

場 所 企画展示室

時 間 各日とも14:00～

参加人数 各回とも約50名～150名

### ■お気に入りを選ぼう！

展示されている25点のTARO賞作品の中から、来館者にお気に入りの作品を選ぶイベント。受付でもらったカードに付いている赤いシールを、企画展出口にある投票ボードに貼って投票しました。

日 時 2019年2月15日(金)～3月31日(日)

場 所 企画展示室、ギャラリースペース

- 投票結果
- 1位 《捨てる紙あれば、拾う神あり》本堀雄二  
 2位 《無限之超大國》田島大介  
 3位 《森羅万象》藤原文江  
 4位 《こちふかば(ポッチ・川崎にて)》武内カズノリ  
 5位 《つぎの時代にゆくまえに》佐野友紀



### ■お手紙プロジェクト

来館者が、第22回TARO賞展の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙に書いてポストに投函します。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示され、作家から返事をもらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。

日 時 2019年2月15日(金)～4月14日(日)

場 所 ギャラリースペース



## 【出品リスト】

No.	作家/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
1	Art unit HUST (遠山 伸吾、臼木英之) 《In Vitro -閉鎖⇄連鎖-》	プラグトレー、カーブミラー、レンズ、胎児のエコー画像、合板、ワイヤ	450×450×450
2	秋山 佳奈子 《パニーガール》	パネル、アクリル絵画、マネキン、布	500×500×250
3	赤穂 進 《金貨の肖像画》	キャンバス、アクリル、スプレー、その他	250×220×205

4	イガわ 淑恵 《民主主義キョウセイマシン》	ランニングマシン、液晶テレビ、DVD デッキ、スチールラック、木板、アルミ板、チェーン、天然ゴムシート、紙、鉛筆など	199×102×201
5	井口 雄介 《Para-site-frame-work》	鉄	900×1000×1800
6	大槌 秀樹 《名もなき神々》	映像、写真、木、石、鉄、熊除けの鈴	500×500×500
7	岡野 茜 《意味のない箱》	アクリルガッシュ、板、砂、布、キャンバス、ビス	500×500×450
8	革命アイドル暴走ちゃん 《暴走の肉塊》	電飾、プロジェクター、モニター、DVD プレーヤー、ギター、布、紙、絵の具、プラスチック、紙吹雪、乾燥わかめ、ルミカライト	300×500×500
9	風間 天心 《Funetasia》	ミクストメディア、パフォーマンス 協力：German Suplex Airlines	500×500×500
10	梶谷 令 《見守ること、贈ること》	ミクストメディア	110×160 3点
11	國久 真有 《BPM》	キャンバス、アクリル絵の具、人間、机、はけ、シート	500×500×500
12	佐野 友紀 《つぎの時代にゆくまえに》	キャンバス地にインクジェットプリント、アクリル絵具、クレヨン	500×500×500
13	塩見 亮介 《茶糸素懸絨威山狗胴具足》	銅、真鍮、鉄、革、紐、漆、桧	180×80×70
14	瀧川 真紀子 《10月、けやきの下で(くりかえさ木、紙、はしご、いす、オブジェほか、かわらないもの)》		200×500×200
15	武内 カズノリ 《こちふかば(ボッチ・川崎にて)》	陶磁、杉小枝、ワイヤー、その他	350×400×600
16	田島 大介 《無限之超大國》	丸ペン、黒インク、パネル	240×330、194×400
17	田中 義樹 《SUPER OLYMPIC》	燃える金閣、銀閣、銅閣寺の彫刻と、101匹わんちゃんの彫刻と、その他いろんな素材の立体	400×500×500
18	服部 正志 《100キンの屏風》	金色(100種類)、屏風、映像(約3分)	180×450×200
19	檜皮 一彦 《hiwadrome: type ZERO spec3》	車椅子、LED照明、プロジェクター、液晶モニター、その他	500×500×500
20	藤原 史江 《森羅万象》	サンドペーパー、石、木	500×500×500
21	本堀 雄二 《捨てる紙あれば、拾う神あり》	使用済みダンボール箱、木など	246×500×500
22	馬 嘉豪/MA JIAHAO 《子供国の軍隊》	封筒、プラスチック、水彩、本、スプレーなど	500×500×500
23	宮内 裕賀 《イカ生》	キャンバス、ジュッツ、油彩、イカ墨、コウイカ貝殻、アオリイカ表皮、アオリイカ軟甲、ケンサキイカ水晶体、その他	500×500×155
24	宮田 彩加 《MRI SM20110908》	ミシン糸	500×500×500
25	吉田 絢乃 《レイヤー》	キャンバスにアクリル	300×500×500

## 2. 常設展

### 「太陽の塔 誕生 ～<sup>はちめんろっぴ</sup>八面六臂の岡本太郎」展

会 期	2018年 4月19日(木)～ 7月1日(日)
開催日数	64日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	約100点
担 当 者	片岡香



ポスター

#### 【開催趣旨】

岡本太郎が日本万国博覧会のテーマ館プロテューサーに就任する1967年頃から、開催翌年の1971年頃までの、万博の仕事と同時進行で数多くの仕事をこなし、文字通り八面六臂の活躍をした岡本の活動について紹介。万博のテーマ館であった《太陽の塔》を中心に、この時期に制作された他の作品や執筆活動、プライベートの様子など、当時の岡本の多面的な活動について、作品や資料・映像とともに紹介しました。1970年の万博開催より48年を経た今年、《太陽の塔》は耐震・修復工事とともに、胎内の「生命の樹」が復元・修復され万博当時の姿がよみがえりました。3月19日から始まった《太陽の塔》の内部公開にあわせ本展を開催しました。

#### 【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法等	制作年
1	岡本太郎	飛ぶ眼	油彩・キャンバス	1961
2	岡本太郎	マラソン	油彩・キャンバス	1964
3	岡本太郎	千手	油彩・キャンバス	1965
4	岡本太郎	駄々っ子	油彩・キャンバス	1951
5	岡本太郎	美女と野獣	油彩・キャンバス	1949
6	岡本太郎	森の掟	油彩・キャンバス	1950
7	岡本太郎	樹人	油彩・キャンバス	1951
8	岡本太郎	クリマ	油彩・キャンバス	1951
9	岡本太郎	誇り	FRP	1962
10	岡本太郎	顔Ⅲ	油彩・キャンバス	1968
11	岡本太郎	顔Ⅳ	油彩・キャンバス	1968
12	岡本太郎	双子座	シルクスクリーン	1973
13	岡本太郎	太郎爆発	ポスター	1968
14	岡本太郎	午後の日	陶	1967
15	岡本太郎	むすめ	陶	1967

16	岡本太郎	マミ会館	FRP	1968
17	岡本太郎	マミ会館 ドローイング	鉛筆・紙	1968
18	岡本太郎	マミ会館 ドローイング	インク・紙	1968
19	岡本太郎	太陽の塔	FRP	1970
20	岡本太郎	ノン	FRP	1970
21	岡本太郎	戦士	FRP	1970
22	岡本太郎	マスク	FRP	1970
23	岡本太郎	風	木版	1970
24	岡本太郎	光る彫刻	FRP	1967
25	岡本太郎	原色卓	合板・金属	1967
26	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
27	岡本太郎	火の接吻	磁器	1970
28	岡本太郎	むすめ	陶器	1967
29	岡本太郎	歩み	陶器	1967
30	岡本太郎	踊る	シャギー	1969
31	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶器	1963
32	岡本太郎	ひもの椅子	木・ロープ	1967
33	岡本太郎	手の椅子	FRP	1967
34	岡本太郎	駄々っ子	FRP	1969
35	岡本太郎	顔VI	油彩・キャンバス	1970
36	岡本太郎	躍進	FRP	1972
37	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
38	岡本太郎	リボンの子	FRP	1969
39	岡本太郎	樹霊 I	FRP	1970
40	岡本太郎	樹霊 II	FRP	1970
41	岡本太郎	若い太陽の塔	FRP	1969
42	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1967
43	岡本太郎	樹人	FRP	1971
44	岡本太郎	星・花・人	合板・LED	1971
45	岡本太郎	こどもの樹	FRP	1985
46	岡本太郎	ほおずえ	布・木・金属	1968
47	岡本太郎	まどろみ	布・金属	1967
48	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板・金属	1967
49	岡本太郎	スツール	アルミ・布	1967
50	岡本太郎	スモーキングセット	陶器	1952
51	岡本太郎	黒い顔	FRP	1968
52	岡本太郎	無口	陶器	1967

53	岡本太郎	飛翔	陶器	1977
54	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
55	岡本太郎	風神	陶器	1978
56	岡本太郎	雷神	陶器	1978
57	岡本太郎	れんげの大鉢	陶器	1987
58	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
59	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960年代
60	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
61	岡本太郎	男の子・女の子	磁器	制作年不詳
62	岡本太郎	神話	白銅	1980
63	岡本太郎	太郎の手の時計	FRP	1972
64	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
65	岡本太郎	顔	革	1978
66	岡本太郎	ティーセット夢の鳥	磁器	1977
67	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
68	岡本太郎	人間ボトル	磁器	1985
69	岡本太郎	顔のプレート(青)	ガラス	1976
70	岡本太郎	顔のプレート(赤)	ガラス	1976
71	岡本一平	無題(岡本一家)	紙本墨画・軸	制作年不詳
72	岡本一平	明治大正昭和 漫画式紙	墨・色紙	制作年不詳
73	岡本かの子・著 岡本太郎・装幀	生々流転	書籍(改造社)	1940
74	岡本かの子	アベック銀ブラ買物記 原稿	インク・原稿用紙	制作年不詳
75	岡本一平・画 岡本かの子・書	親子目録	紙本彩色・短冊	制作年不詳
76	岡本一平・句 岡本太郎・書	木曾谷の出口明らか村紅葉	色紙	1986

## ■写真■

No.	撮影者	タイトル/撮影地	技法	撮影年
77	岡本太郎	コアクトリエ像(メキシコ国立人類学博物館) /メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967
78	岡本太郎	オハカの市場/メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967
79	岡本太郎	オハカ郊外/メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967
80	岡本太郎	サンクリストバル/メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967
81	岡本太郎	サンクリストバル/メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967

82	岡本太郎	チチエン・イツァの遺跡／メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967
83	岡本敏子	カピーリヤ(礼拝用の祭壇)を撮影する岡本太郎／メキシコ	ゼラチンシルバープリント	1967

### ■岡本太郎著作■

No.	編著者名	書名	出版社	出版年
84	岡本太郎著	『今日をひらく 太陽との対話』	講談社	1967
85	岡本太郎著	『原色の呪文』	文藝春秋社	1968
86	海藤日出男編	『岡本太郎』	美術出版社	1968
87	国分直一・岡本太郎編	『日本文化の歴史1 大地と呪術』	学習研究社	1969
88	増田精一・岡本太郎編	『日本文化の歴史2 古墳と神々』	学習研究社	1969
89	岡本太郎・泉靖一	『日本列島文化論—日本人は爆発しなければならない』	大光社	1970
90	岡本太郎・泉靖一・梅棹忠夫編	『世界の仮面と神像』	朝日新聞社	1970
91	岡本太郎著	『美の呪力-わが世界美術史』	新潮社	1971

### ■資料■

92	太陽の塔 立面図	鉛筆・トレーシングペーパー
93	生命の樹・生物スケッチ	鉛筆・インク・トレーシングペーパー
94	明日の神話	写真パネル
95	太陽の塔内展示 生命の樹	写真パネル
96	テーマ館地下展示	写真パネル
97	プライベート映像「スキーとゴルフ」	時間：3分48秒 編集：岡本太郎美術館
98	制作風景映像（1967～69年）	時間：16分08秒 編集：岡本太郎美術館



## 常設展

### 「岡本太郎とからだ」展

会 期	2018 年 7 月 5 日(木)～ 9 月 24 日(月祝)
開催日数	71 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	約 100 点
担 当 者	片岡香



ポスター

#### 【開催趣旨】

岡本太郎は、絵画や彫刻など多くの作品のなかで「からだ」を表現しています。絵画では、人や生きものたちが岡本独特の色や形で描かれますが、全身が描かれた作品だけでなく、顔や眼、手など、からだの部分を取りだしてモチーフとする作品があります。彫刻やインテリアでも、多くの作品が生きものの姿や顔、手などをモチーフとして作られています。

本展では、絵画や彫刻、インテリアなど、岡本太郎の作品にみられる多様な「からだ」の表現を、「<sup>からだ</sup>身体」「<sup>かお</sup>顔」「<sup>め</sup>眼」「<sup>て</sup>手」という 4 つのテーマから紹介しました。

#### 【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	材質・技法等	制作年
1	岡本太郎	夜	油彩・キャンバス	1947
2	岡本太郎	よろこび	油彩・キャンバス	1982
3	岡本太郎	玉を抱く女	油彩・キャンバス	1988
4	岡本太郎	誘う	油彩・キャンバス	1982
5	岡本太郎	遭遇	油彩・キャンバス	1981
6	岡本太郎	森の家族	油彩・キャンバス	1983
7	岡本太郎	ヒロシマ	リトグラフ	1985
8	岡本太郎	東京オリンピック参加記念メダル原型	FRP	1964
9	岡本太郎	ミュンヘンオリンピック公式記念メダル原型	FRP	1972
10	岡本太郎	人間と自然	銀	1975
11	岡本太郎	人間と海	銀	1976
12	岡本太郎	青春	鉛筆・インク・紙	1950
13	岡本太郎	喫煙者	鉛筆・インク・紙	1951
14	岡本太郎	哄笑	鉛筆・紙	1953
15	岡本太郎	燃える人	インク・紙	1955

16	岡本太郎	母と子	鉛筆・水彩・紙	1955
17	岡本太郎	瞬間	鉛筆・紙	1955
18	岡本太郎	死の灰	鉛筆・墨・水彩・紙	1958
19	岡本太郎	裂けた顔	墨・紙	1960
20	岡本太郎	裂けた顔	鉛筆・紙	1960
21	岡本太郎	マスク	油彩・キャンバス	1959
22	岡本太郎	喫煙者	油彩・キャンバス	1951
23	岡本太郎	まひるの顔	油彩・キャンバス	1948
24	岡本太郎	裂けた顔	油彩・キャンバス	1960
25	岡本太郎	裂けた顔	油彩・キャンバス	1980
26	岡本太郎	マラソン	油彩・キャンバス	1964
27	岡本太郎	顔・顔・顔	油彩・キャンバス	1980
28	岡本太郎	子供の時間	FRP	1975
29	岡本太郎	午後の日	陶	1967
30	岡本太郎	マスク	油彩・キャンバス	1985
31	岡本太郎	疾走する眼	油彩・キャンバス	1992
32	岡本太郎	眼の立像	油彩・キャンバス	1981
33	岡本太郎	呼ぶ	油彩・キャンバス	1984
34	岡本太郎	ひそやかな跳躍	油彩・キャンバス	1963
35	岡本太郎	呼ぶ	リトグラフ	1976
36	岡本太郎	眼	リトグラフ	1975
37	岡本太郎	呼ぶ A	FRP	1990
38	岡本太郎	呼ぶ B	FRP	1990
39	岡本太郎	傷ましき腕	油彩・キャンバス	1936/1949
40	岡本太郎	手の顔	油彩・キャンバス	1978
41	岡本太郎	千手	油彩・キャンバス	1965
42	岡本太郎	手の灰皿	ガラス	1979
43	岡本太郎	手の灰皿 ドローイング	鉛筆・紙	1979
44	岡本太郎	反世界 ドローイング	墨・紙	1964
45	岡本太郎	乙女	FRP	1988
46	岡本太郎	コンポジション	リトグラフ	1958
47	岡本太郎	黒い顔	リトグラフ	1975
48	岡本太郎	記念撮影	リトグラフ	1975
49	岡本太郎	夜の会合	シルクスクリーン	1974
50	岡本太郎	原色卓	合板・金属	1967
51	岡本太郎	顔の時計	FRP	1967
52	岡本太郎	顔のスピーカー	布・木・FRP	1971

53	岡本太郎	太郎の手の時計	FRP	1972
54	岡本太郎	ほおずえ	布・木・金属	1968
55	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
56	岡本太郎	人間ボトル	磁器	1985
57	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
58	岡本太郎	あし	ガラス	1982
59	岡本太郎	歩み	陶器	1967
60	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶器	1963
61	岡本太郎	ひもの椅子	木・ロープ	1967
62	岡本太郎	手の椅子	FRP	1967
63	岡本太郎	駄々っ子	FRP	1969
64	岡本太郎	マスク	FRP	1970
65	岡本太郎	太陽の塔	FRP	1970
66	岡本太郎	河童像	FRP	1981
67	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1965
68	岡本太郎	祭り	FRP	1985
69	岡本太郎	愛	コンクリート	1961
70	岡本太郎	女神像	FRP	1979
71	岡本太郎	栄光	FRP	1976
72	岡本太郎	踊り	FRP	1982
73	岡本太郎	樹人	FRP	1971
74	岡本太郎	燃える手	蠟	1965
75	岡本太郎	邂逅	FRP	1971
76	岡本太郎	まどろみ	布・金属	1967
77	岡本太郎	ティーテーブル	合板・金属	1967
78	岡本太郎	スツール	アルミ・布	1967
79	岡本太郎	スモーキングセット	陶器	1952
80	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
81	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1960年代
82	岡本太郎	黒い顔	FRP	1968
83	岡本太郎	耳助	陶器	1981
84	岡本太郎	笑くぼ	陶器	1981
85	岡本太郎	無邪気	陶器	1981
86	岡本太郎	踊り	陶器	1982
87	岡本太郎	むすめ	陶器	1982
88	岡本太郎	歓喜	陶器	1977
89	岡本太郎	むすめ	ブロンズ	1981

90	岡本太郎	四面の壺	陶器	1987
91	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
92	岡本太郎	男の子・女の子	磁器	制作年不詳
93	岡本太郎	神話	白銅	1980
94	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
95	岡本太郎	午後の日	ブロンズ	1967
96	岡本太郎	顔	革	1978
97	岡本太郎	ティーセット夢の鳥	磁器	1977
98	岡本太郎	未来を拓く	ブロンズ	1967
99	岡本太郎	火の接吻	磁器	1970
100	岡本太郎	顔のプレート(青)、(赤)	ガラス	1976
101	岡本一平	海の幸山の幸	紙本彩色・軸	制作年不詳
102	岡本一平	漱石八態	紙本彩色・折本	制作年不詳
103	岡本かの子著、 岡本太郎表紙装丁画、 岡本太郎表紙装丁案、挿絵	女体開頭	書籍(中央公論社)	1943
104	岡本かの子 著、 岡本太郎 表紙装丁	老妓抄 川	書籍(成瀬書房)	1986
105	岡本一平	破れ壁や達磨を覗く雀の子	紙本彩色・色紙	制作年不詳
106	岡本かの子	起きいでて	紙本墨書・短冊	制作年不詳
107	岡本かの子	伊豆の海に	紙本墨書・短冊	制作年不詳

## 常設展

## 「岡本太郎と渡仏記念展（1952）」

会 期	2018年9月28日(金)～10月5日(金)
開催日数	7日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	76 点
担 当 者	佐々木秀憲



ポスター

## 【開催趣旨】

岡本太郎（1911-96）は、1930年から10年間、パリに滞在し、前衛芸術活動に参画しました。1940年、ドイツ・ナチスのヒトラーによるパリ侵攻により、岡本は帰国します。第二次世界大戦の後岡本は、1952年11月に再度、フランスを訪れる機会に恵まれます。

この再渡仏を記念して、大阪の高島屋において、1952年10月17日から22日まで、「渡仏記念 岡本太郎展」が開催されました。同展には、1952年時点における岡本の代表作が展示され、岡本の再渡仏に懸ける意気込みが感じられます。

本常設展では、第二次世界大戦後、再び国際的な芸術活動を開始しようとする、当時41歳の岡本太郎の作品をご紹介します。

## 【出展作品リスト】

No.	作家名	作品名	素材	制作年（再制作）	所蔵（記載のないものは岡本太郎美術館蔵）
1	岡本太郎	邂逅	FRP	1971	
2	ハンス(ジャン)・アルプ	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1973(1930)	
3	ソフィー=トイヴァー・アルプ	青いフォルム	シルクスクリーン・紙	1973(1935)	
4	ジョルジュ・ヴァントングルロー	$Y=X^2+bx+c$ 赤・緑	シルクスクリーン・紙	1973(1933)	
5	アレキサンダー・カルダー	コンポジション	リトグラフ・紙	1973(1932)	
6	ソニア・ドロネー=テルク	リズムー色彩 No. 816	シルクスクリーン・紙	1973(1936)	
7	ヴァシリー・カンディンスキー	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1973(1932)	
8	ラーズロー・モホイ=ナジ	構成	シルクスクリーン・紙	1973(1932)	
9	ピエト・モンドリアン	コンポジション D	シルクスクリーン・紙	1973(1932)	
10	テオ・ファン・ドゥースブルフ	コンポジション	シルクスクリーン・紙	1973(1930)	
11	ジェラルド・ヴュリアミ	コンポジション	リトグラフ・紙	1973(1933)	
12	岡本太郎	空間	リトグラフ	1973(1934)	
13	岡本太郎	傷ましき腕	油彩・キャンバス	1936(1949)	
14	岡本太郎	夜	油彩・キャンバス	1947	
15	クルト・セリグマン	La Parachutiste	エッチング	1934	

16	クルト・セリグマン	Le pecheur	エッチング	1934	
17	クルト・セリグマン	L' epoux	エッチング	1934	
18	クルト・セリグマン	Les voyageurs	エッチング	1934	
19	クルト・セリグマン	Le roi du charbon	エッチング	1934	
20	クルト・セリグマン	La sorciere	エッチング	1934	
21	クルト・セリグマン	L' ermite	エッチング	1934	個人蔵
22	下郷羊雄	失題	油彩・板	1942	
23	岡本太郎	海辺	油彩・キャンバス	1954	
24	岡本太郎	美女と野獣	油彩・キャンバス	1949	
25	岡本太郎	二人	油彩・キャンバス	1948	
26	岡本太郎	黒い太陽	油彩・キャンバス	1949	
27	岡本太郎	森の掟	油彩・キャンバス	1950	
28	岡本太郎	喫煙者	油彩・キャンバス	1951	
29	岡本太郎	まひるの顔	油彩・キャンバス	1948	
30	岡本太郎	歩く人	油彩・キャンバス	1952	
31	岡本太郎	作家	油彩・キャンバス	1948	
32	岡本太郎	駄々っ子	油彩・キャンバス	1951	
33	岡本太郎	夢の鳥	油彩・キャンバス	1951	
34	岡本太郎	顔	陶	1952	
35	岡本太郎	青空	油彩・キャンバス	1954	
36	岡本太郎	重工業	油彩・キャンバス	1949	
37	岡本太郎	樹人	油彩・キャンバス	1951	
38	岡本太郎	クリマ	油彩・キャンバス	1951	
39	岡本太郎	天空に我あり	油彩・キャンバス	1967	
40	岡本太郎	群像（モザイクタイル画）	モザイクタイル	1949	岡本太郎記念館
41	岡本太郎	マミ会館	FRP	1968	
42	岡本太郎	万博の鍵	FRP	1970	
43	岡本太郎	太陽の塔	FRP	1970	
44	岡本太郎	戦士	FRP	1970	
45	岡本太郎	天に舞う	FRP	1974	
46	岡本太郎	風	油彩・板	1975	
47	岡本太郎	めざめ	油彩・板	1975	
48	岡本太郎	太陽と月	油彩・金属・板	1975	
49	岡本太郎	いこい	油彩・FRP・板	1975	
50	岡本太郎	赤	油彩・板	1975	
51	岡本太郎	駄々っ子（椅子・赤）	FRP	1967	
52	岡本太郎	駄々っ子（椅子・緑）	FRP	1967	
53	岡本太郎	手の椅子（赤）	FRP	1967	
54	岡本太郎	手の椅子（黄）	FRP	1967	
55	岡本太郎	マスク	FRP	1970	

56	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963
57	岡本太郎	花びらの椅子	FRP	1970
58	岡本太郎	飛行船模型	FRP	1873
59	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板・金属	1967
60	岡本太郎	ひもの椅子	木・ロープ	1967
61	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
62	岡本太郎	まつげ	ガラス	1978
63	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
64	岡本太郎	梵鐘・歓喜	ブロンズ	1967
65	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
66	岡本太郎	若い太陽の塔	FRP・鉄	1969
67	岡本太郎	夢の樹	FRP	1983
68	岡本太郎	こどもの樹	FRP	1985
69	岡本太郎	太陽	FRP	1985
70	岡本太郎	樹人	FRP	1971
71	岡本太郎	横たわる	陶	1981
72	岡本太郎	踊り	陶	1982
73	岡本太郎	むすめ	陶	1982
74	岡本太郎	歓喜	陶	1977
75	岡本太郎	渾沌	陶	1979
76	岡本太郎	雷神	陶	1978

## 常設展

### 2025 年大阪万博開催決定記念「ファンタジック TARO」展

会 期	2019 年 1 月 18 日(金)～4 月 26 日(金)
開催日数	85 日
観 覧 料	一般 500 (400) 円、高大学生・65 歳以上 300 (240) 円 中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	約 130 点
担 当 者	篠原優、大杉浩司



ポスター

#### 【開催趣旨】

岡本は絵画や彫刻などを制作するとともに、数多くのインテリアのデザインも手がけています。その活動は生涯を通して続けられ、様々な“遊び”心にあふれた生活用品が生み出されました。芸術は芸術家だけのものではなく、だれでも手に取れて親しめるべきである。そう考えていた岡本は、人々が生きる生活の中にこそ芸術の必要性を見出します。人間と対決することで人間性を回復させるという岡本の理念は、それ自身が生き物の姿をした「ファンタジック家具」というデザイン、《坐ることを拒否する椅子》や「岡本太郎インテリア」展（1970 年）などの形でも結実しました。

本展では 2025 年に再び開催される大阪万博を記念し、岡本太郎がデザインしたインテリアや商業製品などのプロダクト作品を中心に紹介しました。

#### 【出展作品リスト】 ※は岡本太郎記念館所蔵作品

No.	作家名	作品名	材質・技法等	制作年
1	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963
2	岡本太郎	ほおづえ	布・金属	1968
3	岡本太郎	変身	油彩・キャンバス	1953
4	岡本太郎	クリマ	油彩・キャンバス	1951
5	岡本太郎	スモーキングセット	陶	1952
6	岡本太郎	月夜	うちわ	1950
7	岡本太郎	まひる	うちわ	1950
8	岡本太郎	コンポジション	リトグラフ	1958
9	岡本太郎	花ひらく	リトグラフ	1958
10	岡本太郎	重工業	油彩・キャンバス	1949
11	岡本太郎	美女と野獣	油彩・キャンバス	1949
12	岡本太郎	空間	油彩・キャンバス	1934/1954
13	岡本太郎	駄々っ子	油彩・キャンバス	1951
14	岡本太郎	誇り	FRP	1962
15	岡本太郎	トランプ	紙	1977
16	岡本太郎	「TARO 鯉」ポスター	紙	1981



17	岡本太郎	「人間ボトル」ポスター	紙	1985
18	岡本太郎	「顔のグラス」ポスター	紙	1976
19	岡本太郎	「顔のグラス」ポスター	紙	1977
20	岡本太郎	顔VI	油彩・キャンバス	1970
21	岡本太郎	樹霊	FRP	1970
22	岡本太郎	ティーテーブル・遊び	合板・金属	1967
23	岡本太郎	火の接吻	卓上ライター	1970
24	岡本太郎	水差し男爵	ガラス	1977
25	岡本太郎	まつげ	氷入れ・氷ばさみ	1978
26	岡本太郎	顔のグラス	ガラス	1976
27	岡本太郎	花びら	ガラス	1968
28	岡本太郎	喜	扇	1984
29	岡本太郎	ほほえみ	ポプリ入れ	1986
30	岡本太郎	人間ボトル	ボトル	1985
31	岡本太郎	爆発	マグカップ	1981
32	岡本太郎	原色卓	合板・金属	1967
33	岡本太郎	歩み	陶	1967
34	岡本太郎	太郎の手の時計	FRP	1972
35	岡本太郎	緑の太陽	ガラス	1969
36	岡本太郎	夢の鳥	磁器	1977
37	岡本太郎	未来を拓く	時計	1967
38	岡本太郎	顔のスピーカー	ステレオカバー	1971
39	岡本太郎	むすめ	陶	1967
40	岡本太郎	まどろみ	布・金属	1967
41	岡本太郎	近鉄バファローズ キャップ	キャップ	1959年以降
42	岡本太郎	スカーフ	絹	1974-77
43	岡本太郎	生成	シルクスクリーン	1974
44	岡本太郎	赤	シルクスクリーン	1974
45	岡本太郎	子供の時間	シルクスクリーン	1974
46	岡本太郎	太陽	木版	1970
47	岡本太郎	風	リトグラフ	1980
48	岡本太郎	黒い太陽	リトグラフ	1980
49	岡本太郎	哄笑	スタンドグラス	1986
50	岡本太郎	ネクタイ	絹	1950-80年代
※51	岡本太郎	ネクタイ ドローイング	水彩・紙	1950-80年代

※52	岡本太郎	近鉄バファローズシンボルマーク当初案	水彩・紙	1959
※53	岡本太郎	近鉄バファローズ シンボルマーク	水彩・紙	1959
54	岡本太郎	夢	屏風	1979
55	岡本太郎	年賀状	紙	1981-92
56	岡本太郎	電電公社テレホンカード 《喜》《音》《話》《楽》	テレホンカード	1982
57	岡本太郎	健康絵馬《太陽》	木・紐	1987
58	岡本太郎	健康絵馬《龍》	木・紐	1987
59	岡本太郎	コースター、マッチ箱	紙・マッチ	制作年不明
60	岡本太郎	ベルトン油絵具	油絵具	1980年頃
61	岡本太郎	太陽の顔	ライター	制作年不明
62	岡本太郎	涙のペンダント	ペンダント型時計	1967
63	岡本太郎	顔の時計	FRP	1967
64	岡本太郎	光る時計	アクリル・金属	1967
65	岡本太郎	斉唱	油彩・紙	1962
66	岡本太郎	太陽の塔	FRP	1970
67	岡本太郎	千手	油彩・キャンバス	1965
68	岡本太郎	サカナ	油彩・キャンバス	1973
69	岡本太郎	哄笑	油彩・キャンバス	1972
70	岡本太郎	顔IV	油彩・キャンバス	1968
71	岡本太郎	動物	コンクリート	1959
72	岡本太郎	飛行船《レインボー号》	FRP	1973
73	岡本太郎	光る彫刻	FRP	1967
74	岡本太郎	マスク	FRP	1970
75	岡本太郎	太陽	ガラス	1978
76	岡本太郎	プロムナード	タペストリー	1969
77	岡本太郎	いこい	ガラス	1978
78	岡本太郎	坐ることを拒否する椅子	陶	1963
79	岡本太郎	スツール	アルミニウム・布	1967
80	岡本太郎	駄々っ子(椅子)	FRP	1967
81	岡本太郎	手の椅子	FRP	1967
82	岡本太郎	ひもの椅子	木・紐	1967
83	岡本太郎	サイコロ椅子	藤	1957
84	岡本太郎	未来を拓く	FRP	1987
85	岡本太郎	太陽	大漁旗	1990

86	岡本太郎	TARO 鯉	こいのぼり	1980
87	岡本太郎	ひらく肖像	石膏	1982
88	岡本太郎	顔の椅子	木	1953
89	岡本太郎	未来を拓く	石膏	1987
90	岡本太郎	梵鐘・歎喜	ブロンズ	1967
91	岡本太郎	樹霊Ⅱ	FRP	1971
92	岡本太郎	ノン	FRP	1970
93	岡本太郎	戦士	FRP	1971
94	岡本太郎	燃える手	蝋	1965
95	岡本太郎	こどもの樹	FRP	1985
96	岡本太郎	若い時計台	アルミニウム	1966
97	岡本太郎	赤い手	FRP	1981
98	岡本太郎	青い手	FRP	1981
99	岡本太郎	瑞鳥	FRP	1987
100	岡本太郎	樹人	FRP	1971
101	岡本太郎	四ツ足	陶	1956
102	岡本太郎	雑草	陶	1956
103	岡本太郎	マリオネット・顔	陶	1952
104	岡本太郎	四面の壺	陶	1980
105	岡本太郎	曙	陶	1981
106	岡本太郎	ひらく肖像	陶	1982
107	岡本太郎	歎喜	陶	1977
108	岡本太郎	動物	ブロンズ	1956
109	岡本太郎	愛情	ガラス	1965
110	岡本太郎	男の子・女の子	磁器	制作年不明
111	岡本太郎	顔のプレート	ガラス	1976
112	岡本太郎	顔	ガラス	1990
113	岡本太郎	顔	革	1978
114	岡本太郎	黒い太陽	陶（信楽焼）	1970
115	岡本太郎	太陽の顔	磁器・紙	1970
116	岡本太郎	不明	壁掛け	1970
117	岡本一平	潮来へおいで	紙本彩色	制作年不明
118	岡本一平画・島崎藤村作	藤村いろは歌留多	印刷物	1927
119	岡本一平画・島崎藤村作	藤村いろは歌留多（箱）	印刷物	1980（復刻版）
120	岡本かの子・岡本太郎装丁	生々流転	書籍	1938

121	岡本かの子・岡本一平合作	アベック銀ブラ買い物記	紙・インク	1934
122	岡本かの子	白梅	絹、墨	1929 年以降
123		太陽の塔 立面図	鉛筆・トレーシングペーパー	1970 年頃
124		生命の樹 ドローイング	鉛筆・紙	1968

### 3. 共催・協力企画展

#### 茨木市制施行70周年記念・平成30年度川端康成生誕月記念企画展 「川端康成と岡本太郎と万博と」

会 場 茨木市立川端康成文学館  
会 期 2018年6月1日(金)～6月30日(土)  
主 催 茨木市立川端康成文学館  
協 力 川崎市岡本太郎美術館  
貸出点数 13点

#### 「太陽の塔」展

会 場 あべのハルカス美術館  
会 期 2018年9月15日(土)～11月4日(日)  
主 催 あべのハルカス美術館、岡本太郎記念現代芸術振興財団、  
NHK大阪放送局  
後 援 大阪府  
協 力 川崎市岡本太郎美術館、ガンバ大阪  
企画協力 パルコ  
貸出点数 10点



チラシ

#### 「岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの」展

会 場 アーツ前橋  
会 期 2018年10月5日(金)～2019年1月14日(月祝)  
主 催 前橋岡本太郎展実行委員会  
共 催 アーツ前橋  
協 力 岡本太郎記念館、川崎市岡本太郎美術館  
後 援 上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、  
産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信  
社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、  
まえばしCITY エフエム、前橋商工会議所、総務省  
貸出点数 58点



チラシ

## 4. 収集・保存・貸出

## 収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	寄贈元	摘要
池田龍雄	《鼻（〈百仮面〉シリーズ）》 1960年 インク、鉛筆、水彩・紙	池田龍雄	¥750,000 (税別)
池田龍雄	《現場のためのデッサン》 1958年 鉛筆、コンテ・紙	池田龍雄	¥83,000 (税別)

## 寄贈作品・資料

作者名	作品名	寄贈元	摘要
池田龍雄	池田龍雄関連資料一式	池田龍雄	
岡本太郎	《水火清風》マケット、陶板画、 1995年	入江崎スラッジセンター	

## 作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
千手	岡本太郎	1975	彫刻	2S00044	内部鋳物砂除去（作品部分開口、内部砂除去、開口部溶接復旧）、既存塗装剥離、表層修正加工、塗装、フッ素コート	日本美術工芸株式会社
母と子	岡本太郎	1982	油彩	1000079	黴孢子除去、亀裂部接着、画面洗浄、手垢除去、絵具剥落部充填、同充填部補彩、擦傷部修復、保護膜塗布	有限会社吉村美術研究所
行列	岡本太郎	1981		1000103		
仮面劇	岡本太郎	1984		1000113		
マスク	岡本太郎	1985		1000117		
疾走する眼	岡本太郎	1992		1000123		

## 貸出作品及び資料

本年度貸出作品：6件，103点

貸出先	練馬区立美術館				合計：10点
池田龍雄	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
池田龍雄関連資料	資料		「戦後美術の現在形 池田龍雄」展 2018. 4. 26-6. 17 練馬区立美術館		2018. 4. 3- 6. 28

貸出先	茨木市立川端康成文学館				合計：13点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
黒い太陽	油彩	1949	茨木市制70周年企画 川端康成生誕月記念企画展 「川端康成と岡本太郎と万博と —激動の茨木—」 2018. 6. 1-6. 30 茨木市立川端康成文学館		2018. 5. 25- 7. 8
黒い生きもの	油彩	1961			
具現	油彩	1961			
太陽	版画	1981			
愛	版画	1981			
太陽	版画	1970			
花	版画	1983			
眼と眼	版画	1977			
午後の日	彫刻	1967			
坐ることを拒否する椅子	インダストリアル ルデザイン	1963			
坐ることを拒否する椅子	インダストリアル ルデザイン	1963			
万博オープニングの鍵	彫刻	1970			
太陽の塔	彫刻	1970			

貸出先	あべのハルカス美術館				合計：10点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
愛撫	油彩	1964	「太陽の塔」展 2018. 9. 15-11. 4 あべのハルカス美術館		2018. 9. 9- 11. 6
エクセホモ	油彩	1963			
顔VI	油彩	1970			
暴走	油彩	1963			
アドレッサン	油彩	1961			
跳ぶ	油彩	1963			
リョウラン	油彩	1963			
黒い太陽	版画	1980			
風	版画	1980			
ノン	彫刻	1970			

貸出先	滋賀県立陶芸の森				合計：4点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
坐ることを拒否する椅子	インダストリアルデザイン	1963	特別展「信楽に魅せられた美の巨匠たち」 2018.10.6-12.20 滋賀県立陶芸の森		2018.9.28- 2019.1.8
夢の鳥	インダストリアルデザイン	1977			
ひらく肖像	彫刻	1982			
まなざし	陶器	1987			

貸出先	アーツ前橋				合計：58点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場		貸出期間
赤のイコン	油彩	1961	「岡本太郎と『今日の芸術』 絵はすべての人の創るもの」展 2018.10.5-2019.1.14 アーツ前橋		2018.9.28- 2019.2.21
犬	油彩	1954			
双子座	油彩	1974			
坐ることを拒否する椅子	インダストリアルデザイン	1963			
坐ることを拒否する椅子	インダストリアルデザイン	1963			
坐ることを拒否する椅子	インダストリアルデザイン	1963			
遊ぶ子	油彩	1954			
海辺の肖像	油彩	1972			
駄々っ子	彫刻	1969			
縄文人	彫刻	1982			
手一赤	彫刻	1981			
手一青	彫刻	1981			
子供の時間	レリーフ	1975			
太陽の塔	彫刻	1970			
瞬間	ドローイング	1955			
未来を見た	油彩	1971			
裂けた顔	油彩	1960			
若い闘争	油彩	1962			
悲しい動物	油彩	1966			
噴火口	陶器	1981			
うなずく	彫刻	1982			
マラソン	油彩	1964			
駄々っ子	油彩	1975			
にらめっこ	油彩	1978			
森の家族	油彩	1983			
太陽の鐘	彫刻	1966			
花びらの椅子	インダストリアルデザイン	1970			
手の椅子	インダストリアルデザイン	1967			



マスク	レリーフ	1970	
ひもの椅子	インダストリアルデザイン		
ひもの椅子	インダストリアルデザイン		
岡本太郎撮影写真 19 点	写真		
岡本太郎関連資料 4 点			
北代省三			
スペース・モデレーター	モビール	1956/1992	
少女と太陽	油彩	1948/1989	
横尾忠則			
夜の会合	油彩	1997	
岡本桃太郎	バブルジェット プリント	1966/2000	

貸出先	ナショナル・ギャラリー・オブ・アート、ロサンゼルス・カウンティ美術館			合計：8 点
岡本太郎	分類	制作年	展覧会名／会期・会場	貸出期間
岡本太郎撮影写真	写真		「日本美術に見る動物の姿」展 2019. 6. 2-8. 18 ナショナル・ギャラリー・オブ・ アート（ワシントン DC） 2019. 9. 22-12. 8 ロサンゼルス・カウンティ美術館	2019. 2. 26- 2020 年 1 月 下旬（予定）

## 5. 情報・刊行物

### 刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 62～65	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展案内</li> <li>・常設展案内</li> <li>・イベント報告</li> <li>・美術館カレンダー</li> <li>・美術館利用案内</li> </ul>	20,000 部 (各 5,000 部発行)
平成 30 年度 川崎市岡本太郎美術館 教育普及 記録集	A5 版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育普及事業の記録</li> </ul>	300 部
平成 29 年度 川崎市岡本太郎美術館年報  当館ホームページにて、PDF 版の閲覧が可能 <a href="http://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html">http://www.taromuseum.jp/aboutmuseum/report.html</a>	A4 版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告（企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会）</li> <li>・資料（入館者数統計、美術館事業予算・決算概要）</li> <li>・組織名簿</li> <li>・美術館概要</li> <li>・美術館条例・規則</li> </ul>	300 部



美術館ニュース「TARO」 Vol. 62～65



平成 30 年度  
教育普及事業  
記録集



平成 29 年度  
美術館年報

## 6. 教育・普及事業

### ■ イベント・ワークショップ ■

#### <TARO 鯉にいどむ！ 2018>

ワークショップ日程 2018 年①4 月 22 日（日）、②29 日（日）、③30 日（月祝） 13 :00～15:30

作品展示日程 2018 年 5 月 2 日（水）～5 月 6 日（日）

内 容 常設展示室の鑑賞、制作、仕上がった後母の塔前広場に展示、記念撮影、という流れで行いました。岡本太郎の言葉通り、「大人も、年寄りも、みんな自分自身が空中に飛翔しているような思いで」「自分勝手に」つくっていました。展示するための作業以外は出来るだけ自由に自分のおもいのままにつくってほしいという意図があり、それがいいという感想もあります。今年で 5 回目になるこのイベント、リピーターも増えました。今年度は新たに第 21 回 TARO 賞作家 13 名と第 19・20 回作家 11 名とメキシコ作家 6 名にもご協力いただき作家の作成した 30 匹の鯉をギャラリースペースに展示し、ワークショップで制作した鯉を母の塔前広場にロープを 5 本つなぎ、218 匹の鯉のぼりが泳ぎました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室、ギャラリースペース、母の塔前広場

料 金 無料（要観覧料）

参加人数 ① 29 名 ② 37 名 ③ 26 名

協力作家 黒木重雄、黒宮菜菜、木暮奈津子、笹田晋平、塩見真由、藤本りか、文田聖二、細沼凌史、室井悠輔、矢成光生、横山信人、吉田芙季子、与那覇俊、（第 21 回 TARO 賞作家・名前順）

#### <こどもの樹をつくろう！>

ワークショップ日程 2018 年 5 月 2 日（水）～6 日（日） 10 :00～16 :00

作品展示日程 2018 年 5 月 2 日（水）～5 月 20 日（日）

内 容 《こどもの樹》には、個性豊かな皆違う顔が並びます。《こどもの樹》の顔で作った塗り絵と自由に描ける丸い紙を用意し、みんなで自由に顔を描いて『こどもの樹』を作りました。ゴールデンウィーク中の小さい子ども連れのご家族や大人の方にも楽しんでいただけました。多くの方にご参加いただき、賑やかなイベントとなりました。



場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加人数 5/2 : 84 名 5/3 : 151 名 5/4 : 316 名 5/5 : 304 名 5/6 日 : 202 名  
合計 1,057 名

### <はいはい&よちよち美術館ツアー>

日 時 ①2018年4月11日(水) ②5月9日(水) ③6月13日(水)

10:30~11:30

内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気味わってもらい鑑賞会を行いました。抱っこで回るグループ、歩きながら回るグループとそれぞれ分かれて行いました。

場 所 ガイダンスホール~常設展示室

対 象 3か月~3才の幼児とご家族 先着10組

講 師 普及企画

料 金 要観覧料

参加人数 ①8名 ②6名(当日雨天のため6組キャンセル) ③19名 ※事前電話受付



### <生命の樹をつくろう！>

ワークショップ日程 2018年6月3日(日) 13:30~15:00

作品展示日程 2018年6月5日(火)~5月20日(日)

内 容 太陽の塔内部にある、「生命の樹」には、様々な時代・種の生き物が配置されていました。常設展を観覧し、一緒に回りながら太郎さんの考えた生命について考え、「出会ったことのない生き物」テーマに思い思いの生き物を段ボールや画用紙で立体を作り、ギャラリースペースの樹に展示し、みんなの生命の樹を作りました。展示期間中は葉っぱ型の塗り絵を用意し、制作して特設POSTに投函してもらい生命の樹に葉を茂らせるコーナーも設けました。

場 所 常設展示室、創作アトリエ、ギャラリースペース

対 象 小学生以上 \*幼児は要保護者同伴

講 師 普及企画

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 37名 事前電話受付

自由制作 1週目:44枚 2週目:76枚



### <ミュージアコンサート>

内 容 コンサートの他、宮前区にちなんだ特別企画を開催。音楽とアートの一日を楽しんでいただきました。

日 時 2018年7月14日(土) 14:00~15:30

場 所 美術館ギャラリースペース

出 演 鈴木遥佳(ソプラノ)、満田俊彦(ピアノ)

料 金 無料

対 象 どなたでも(当日先着順)

参加人数 118名



### <中学生「夏休みの宿題手伝います」ツアー>

日 時	①2018年7月26日(木)10:00~11:00 / 14:00~15:00 ②27日(金)10:00~11:00 / 14:00~15:00
内 容	中学校では夏休みの課題として美術館に行き感想を書いたり新聞をつくったりする学校が多いため、美術館スタッフによるガイダンスを行ったり、ワークシートを提供したりしました。今年度は、美術館の役割にも触れ、作品だけでなく美術館自体にも興味・関心向けることができましたようです。
場 所	常設展示室、企画展示室
講 師	普及企画
料 金	無料
参加人数	①23名 ②20名 当日申込



### <パブリックアートマップ>

日 時	①2018年7月28日(土) ②8月5日(日) 各日10:30~12:00
内 容	夏休みの自由研究をアシストするイベントを、企画展示「パブリックアート」展の内容に合わせて行いました。パブリックアートがある場所のマップを制作することで、美術館以外にも多く点在する岡本太郎作品について知識を深めると同時に、屋外で美術作品を鑑賞する体験や、美術館に実際に通い継続的に作品と関わる楽しさを知ってもらうことができました。
場 所	創作アトリエ、常設展示室、企画展示室
対 象	小学4年生~6年生(保護者の同伴無)
講 師	普及企画
料 金	1,900円(図録代も含む)
参加人数	①5名 ②5名 事前電話受付



### <新聞紙で不思議な海のいきものをつくらう！>

日 時	2018年7月29日(日) 10:30~12:00/14:00~15:30
内 容	第21回TARO賞で、不思議な形や表情の《くらげちゃん》が並んだ作品の作家である木暮奈津子さんによる、夏休みの工作にぴったりのワークショップ。世界に一匹だけの不思議な海のいきものをつくりました。新聞紙とボンドで形をつくり、ジェッソを塗って絵の具で思い思いの表情を描きます。途中、常設展「岡本太郎とからだ」をまわり、太郎さんの不思議な“いきもの”も見てみんなの生き物のイメージを深めました。
場 所	常設展示室、創作アトリエ
対 象	小学生以上
講 師	木暮奈津子 (第21回TARO賞入選作家)
料 金	500円+観覧料
参加人数	78名 事前電話受付



### <サマーミュージアム『TARO 缶バッジをつくろう』>

日 時 2018 年 8 月 19 日 (日) ①11:00～ ②14:00～  
内 容 生田緑地イベントで岡本太郎美術館ではサマーミュージアムイベントとして、100 名限定でオリジナル TARO 缶バッジをつくりました。《こどもの樹》《坐ることを拒否する椅子》の塗り絵を用意し自由に色を塗りオリジナルの缶バッジをつくれるとあって、家族連れを中心に賑やかなイベントとなりました。  
場 所 企画展示室  
対 象 どなたでも  
料 金 無料 (要観覧料)  
参加人数 130 名 (先着順/整理券配布)



### <プレミアム TARO ナイト>

日 時 2018 年 8 月 24 日 (金) 17:00～20:00  
内 容 昨年の 8 月のプレミアムフライデーに行ったプレミアム TARO ナイトを今年も開催しました。美術館の夜間開館を行うとともに、母の塔のライトアップ、母の塔前広場において BAR TARO を臨時開店し夏の夜をアートと美味しいお酒で楽しんでいただきました。常設展示室では、イベント“TARO BODY で謎解き”を開催しました。  
場 所 母の塔広場、常設展示室、企画展示室  
対 象 どなたでも  
演 奏 miwako (アルトサックス、フルート)山本光恵 (キーボード)  
料 金 無料 入館者は要観覧料 (2 割引)  
入館者数 128 名 (17:00 以降入館者)  
展示室イベント参加者 106 名  
屋外イベント観覧者 302 名



### <ナイトミュージアム>

日 時 2018 年 9 月 8 日 (土) 17:00～20:00  
内 容 学芸員のギャラリーツアーと普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する大人限定のイベント。常設展をガイドツアー形式で観覧後、バックヤードを見学しました。その後、各々で展覧会をご覧いただき、カフェやショップでも自由にゆっくりとした時間を過ごしていただきました。  
場 所 常設展示室、企画展示室  
対 象 どなたでも  
講 師 学芸  
料 金 2,000 円 (入館料、ワンドリンク、ミュージアムショップ 500 円券付き)  
参加人数 20 名 事前電話受付



### <《太陽の塔》をかたろう 《太陽の塔》から 48 年—我々はどう生きてきたか>

- 日 程 2018 年 9 月 15 日(土) 13:30~15:00
- 内 容 アジアで初めての万国博覧会が大阪で開かれ早 48 年。この 3 月に再び内部公開となった《太陽の塔》の情報に触れ、その時代の社会、世相や自分のことを思い出される方、そして 48 年間独り立ち続ける《太陽の塔》から何かを感じられた方……。自分にとっての《太陽の塔》とは？というキーワードをもとに話していただきました。当時実際に制作にかかわった方々にもおいでいただきました。
- 場 所 企画展示室
- 対 象 太郎さんの思い出をお持ちの方すべて
- 料 金 無料(要観覧料)
- 参加数 10 名



### <多摩区民祭『ペーパーTARO バックをつくろう!』>

- 日 時 2018 年 10 月 20 日(土) 11:00~/13:00~/14:00~
- 内 容 生田緑地で行われる多摩区民祭のなかで岡本太郎美術館では展覧会ポスターからペーパーTARO バックをつくるワークショップを行いました。家族連れを中心に賑やかなイベントとなりました。
- 場 所 ガイダンスホール
- 対 象 どなたでも
- 料 金 200 円
- 参加人数 58 人



### <第 8 回キッズ TARO 展—テーマ「生命の樹」—>

- 展示期間 2018 年 11 月 3 日(土祝)~11 月 25 日(日)
- 内 容 自由な発想で、独創的な作品を作り続けた岡本太郎。その精神を受け継ぎ、子どもの無邪気で自由な表現の場として、第 8 回目となるキッズ TARO 展を開催しました。今年のテーマである《生命の樹》のもと、幅広い作品が集まりました。
- 場 所 ギャラリースペース
- 対 象 中学生以下
- 応募者数 18 名



### 専修大学インターンシップ学生企画 <石の世界をつくろう!>

- 日 時 2018 年 11 月 18 日(日) 10:00~12:00 13:30~15:30
- 内 容 専修大学学生による企画展のツアーガイドとワークショップイベント。石を観察し、思い思いのものに見立て、描きました。そして、岡本太郎とイサム・ノグチの作品の写真を印刷した台紙の上に、石で作した生き物やオブジェクトをのせて「石の世界」をつくりました。
- 場 所 企画展示室、創作アトリエ
- 料 金 無料(要観覧料)
- 参加人数 70 人



### <はいはい&よちよち美術館ツアー>

- 日 時 2018年①9月12日(水)②10月9日(火)③11月14日(水) 10:30~11:30
- 内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気を味わってもらい鑑賞会を行いました。
- 場 所 ガイダンスホール～常設展示室
- 対 象 3か月～3才の幼児とご家族
- 講 師 普及企画
- 料 金 要観覧料
- 参加人数 ①7組(17名) ②5組(11名) ③9組(20名) ※事前電話受付

### <じゅえき太郎と冬でもムシトリ！>

- 日 時 2018年12月1日(土) 13:30~15:30
- 内 容 TARO賞入選作家「じゅえき太郎」さんと紙粘土でオリジナル昆虫を作り、じゅえき太郎さんの作品《ムシトリ》と一緒にギャラリースペースに展示しました。人気作家のイベントとあり、初めて来館される方も多く、作家の視点からの太郎作品の話や一緒に制作する時間を楽しんでいました。
- 場 所 創作アトリエ、ギャラリー、展示室
- 対 象 小学3年生～どなたでも
- 講 師 じゅえき太郎(第19回TARO賞入選作家)
- 料 金 500円+要観覧料
- 参加人数 34名 事前電話受付



### <メリーポールでクリスマス！>

- 日 時 2018年12月18日(日) 13:30~15:00
- 内 容 岡本太郎が池袋を「明るい街」というキャッチコピーのもと依頼され、クリスマスツリーをイメージしてデザインを考案した《メリーポール》。展示中の岡本太郎の《光る彫刻》イサム・ノグチの《あかり》を鑑賞しイメージを膨らませ、クリスマスを前に新しい年への願いをオブジェ《メリーポール》に表しました。中にLEDライトを入れ灯し明るい光によるオブジェが出来上がりました。
- 場 所 創作アトリエ、企画展示室、ガイダンスホール
- 対 象 小学生～どなたでも
- 料 金 500円+要観覧料
- 参加人数 31名 事前電話受付





### <文化財ポスター展>

- 展示期間 2019年1月26日(土)～2月11日(月祝)
- 内 容 神奈川県教育委員会で行われる、文化財保護ポスター展の作品から、川崎市内の中学生による作品を美術館のギャラリースペースに展示し、来館者にみていただきました。
- 場 所 美術館ギャラリースペース
- 展示点数 91名



### <はいはい&よちよち美術館ツアー>

- 日 時 2019年①2月13日(水) ②3月13日(水) 10:30～11:30
- 内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しみ、お子さんの反応を確かめながらお子さんの様子を通して作品をみてもらったり作品を紹介しての親子のコミュニケーションを図ったり小さな子に無理なく美術館の雰囲気味わってもらおう鑑賞会を行いました。
- 場 所 ガイダンスホール～常設展示室
- 対 象 3か月～3歳の幼児とそのご家族 先着10組
- 講 師 普及企画
- 料 金 無料(保護者のみ要観覧料)
- 参加人数 ①7組(17名) ②10組(23名) ※事前電話受付

### <大人のための TARO 塗り絵>

- 日 時 2019年2月17日(日) 13:30～16:00
- 内 容 岡本太郎の展示作品や第22回 TARO 賞の作品を見た後、岡本太郎作品の塗り絵を、色々な画材、技法を学びながら体験していただきました。これまでの画材、色鉛筆・コンテ・クレヨン・水彩絵具に今回はアクリル絵具を加え、より複雑な色を楽しめるようにしました。
- 場 所 美術館創作アトリエ ほか
- 料 金 1,200円
- 対 象 20歳以上
- 参加人数 12名



### <Taro バースデーコンサート>

- 日 時 2019年2月24日(日) 14:00～15:00
- 内 容 岡本太郎の誕生日(2月26日)を祝って、コンサートを開催。今年は、『美の世界旅行』(1982年)で岡本が「いのち輝くスペイン」と綴ったエッセイにちなんで、スペインの名曲を中心に楽しんでいただきました。
- 場 所 美術館ギャラリースペース
- 出 演 河野智美(ギター)
- 対 象 どなたでも(当日先着順)
- 料 金 無料(椅子席70席は要観覧券・先着順)
- 参加人数 164名
- 協 力 昭和音楽大学/株式会社プレラーディオ



## ■団体利用実績■

学校や教育機関による団体での鑑賞学習や、美術館を利用したグループ学習については、利用する教育機関側と美術館職員が事前に打ち合わせを行い、対象年齢や学習目的に応じた鑑賞プログラムを作成しています。

### H30 学校受入数

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校等		幼稚園・保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	2	198	0	0	1	24	1	15	0	0	1	7	5	244
5	2	315	1	147	5	156	4	87	2	75	0	0	14	780
6	7	674	4	183	9	343	1	30	2	61	0	0	23	1291
7	2	84	2	26	4	27	0	0	0	0	0	0	8	137
8	1	22	3	17	3	29	1	23	1	13	3	73	12	177
9	5	808	2	12	1	33	2	66	0	0	0	0	11	918
10	13	1581	1	130	1	7	3	54	1	38	1	6	20	1836
11	14	1752	1	2	3	15	1	24	1	29	1	34	21	1877
12	12	1122	1	6	3	228	0	0	0	0	0	0	16	1372
1	6	576	3	17	0	0	0	0	0	0	0	0	9	593
2	3	287	3	267	0	0	0	0	0	0	1	15	7	569
3	4	258	1	206	0	0	0	0	3	82	1	7	9	553
計	71	7677	22	1013	30	862	13	299	10	298	8	142	155	10291

## ■学校プログラム■

### <職場体験・インターンシッププログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験します。



今年度受入校数 18校

### <出張授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めます。

今年度受入校数 9校

## ■教材開発と利用■

### <映像資料>

#### 「岡本太郎の芸術」

時間：20 分

内容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説  
\*デロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



#### 「マナーDVD」

内容：小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたもの。



### <作品プリント>

#### 「代表作品」



【バウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

\* 個々の作品についての解説書付き

#### 「遊ぶ字」



【バウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

### <大型作品プリント>



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全 5 作品

### <作品カード (アートカード) >

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 7 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 10 作品

版画：《眼》《夢》全 2 作品レリーフ：《マスク》全 1 作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全 3 作品



【パウチ加工 24 作品 12.0×18.0】

### <子ども向け自由鑑賞ワークシート>

学校団体向けの鑑賞コースに 30 年度よりワークシートを活用したコースに、目的に合わせた各種ワークシートを用意しました。

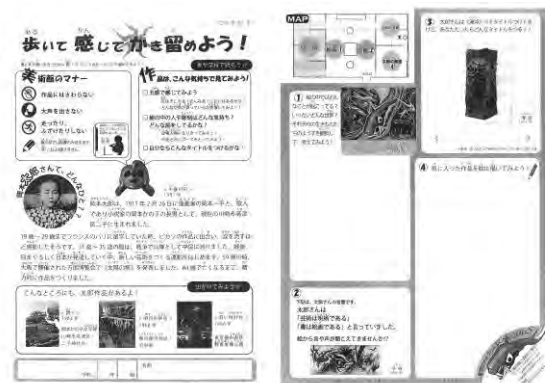
・“遊ぶ！”ガイドマップ

主な作品のカラー画像があります



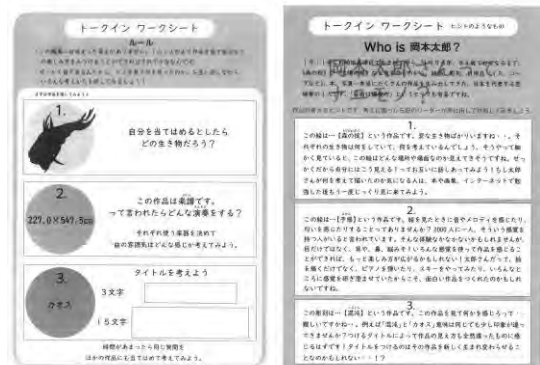
・歩いて 感じて 書き留めマップ

鑑賞のきっかけになる質問やメモスペースが多くある内容。各展覧会に合わせた内容。



・トークインワークシート

4~6 名の班に分かれて鑑賞する内容。ちょっと変わったキーワードがワークシートにあり、それをきっかけに子ども同士が対話をしながら鑑賞します。各展覧会に合わせた内容。



## ■美術館教育研究会■

日 時 2019 年 2 月 28 日 (木) 14:00～16:00

場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ

議 題 (1) 30 年度の普及事業報告

○学校対応事業

○学校・地域連携事業

○イベント・ワークショップ事業

(2) 31 年度の教育普及事業予定

○学校団体利用について

・学校団体鑑賞プログラムの内容

・鑑賞ワークシート作成

○展覧会、イベント予定

・キッズ TARO 展について

(3) その他

出席者 小・中学校、大学：岩崎知美（総合教育センター指導主事）、松下友子（川中島小学校校長）北瀧美波（枳形中学校教諭）、柳原麻子（中野島中学校教諭）、鈴木寿子（稲田中学校教諭）、安田薫（菅中学校）、大島晶子（御幸小学校教諭）、渋谷典子（菅生小学校）、黒田智（南菅小学校）、松本潤（川中島小学校）

美術館：荻原圭一（岡本太郎美術館副館長）、佐藤玲子（普及企画担当係長）、山崎千加子（普及企画係主任）、橋本文恵、北川裕介、千村曜子（普及企画係非常勤職員）

## 7. 指定管理者による自主事業

### <岡本太郎美術館でハーバリウムワークショップ>

日 時 2018 年 11 月 4 日 (土) 13:30~15:00

内 容 指定管理者代表企業：(株)日比谷花壇の視点から、フラワーアート制作を介して岡本太郎に親しむ契機の創出と、新しい顧客層開拓を目的にフラワーアレンジ教室を企画開催しました。作業前に企画展示を観覧頂き、創作イメージを膨らませてから、アトリエにてハーバリウム（植物標本型のフラワーアート）を制作しました。花材も一部選択式で表現の幅を持たせ、美術館ロゴプレートもつけました。岡本太郎のイメージとフラワーアレンジの親和性に事前の心配はありましたが、想像以上の好評で定員を拡大し、アンケートも大変満足度の高い評価を頂きました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室、企画展示室

講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）

料 金 1,500 円（別途観覧料）

参加人数 定員 20 名

実績 22 名+同伴 2 名 計 24 名

### <専修大学 EmoHill X' mas ミニライブ>

日 時 2018 年 12 月 16 日 (日) 12:15~12:45

内 容 専修大学のアカペラサークルに呼び掛け、定期開催を前提にカフェ屋外でのミニライブを提案実施しました。美術館観覧に加えたもうひとつイベントとして、カフェ集客アップ、緑地内の西口の賑い醸成を目的とします。春からの提案でしたが、専大サークルの意欲の高さから急速 Xmas の試行版として実施しました。短い告知期間で寒中にも拘わらずなかなかの集客があり、全 2 ユニット 6 曲を楽しんで頂きました。



場 所 カフェテリア TARO 前屋外

出 演 専修大学アカペラサークル「EmoHill」

料 金 無料

参加人数 53 名

### <TARO 凧をつくろう！>

日 時 2019年1月12日(土) ①10:30~12:00 ②13:00~14:30

内 容 年初の閑散期の集客動機と、季節行事に親しみ岡本太郎作品に触れる機会を設けたく、和凧作りを企画実施しました。教育普及よりお借りしたアートカードを見ながら凧紙に自由に絵を描いてもらい、竹を組んだ本格的な和凧に仕立てました。完成した凧を飛ばして紐の調整などもする予定でしたが、雨のため見合わせました。告知期間が年末年始の限られた時間でしたが、当日の駆け込みも多く参加者アンケートも大変好評でした。



場 所 創作アトリエ

講 師 小山裕行(業務責任者・和凧講師歴3年)

料 金 500円

参加人数 定員各20名  
実績①16名+同伴14名 ②17名+同伴15名 計62名

### <美術館でフラワーレッスン vol.2「早春のスワッグ」>

日 時 2019年2月9日(土) 10:30~12:30

内 容 美術館でのフラワーアレンジ教室の定期開催に向け、行事・季節テーマの開催、また閑散期の集客策としてドライフラワーを使った流行の花束型の花飾り「スワッグ」の教室を開催しました。常設展示を観覧後、スワッグやドライフラワーの知識を学びながら、選択式の花材で手の中で束を組み上げていく過程が意外に難しく、参加の方は熱心に制作に没頭していました。今回も親子や若年・高齢層と幅広い層の方に参加頂き、アンケートからアレンジ教室を「アート」として捉え、楽しんで頂いている傾向もうかがえました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室

講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)

料 金 1,800円(別途観覧料)

参加人数 定員20名  
実績15名+同伴6名 計21名

※川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より(株)日比谷花壇、(株)日比谷アメニス、東急ファシリティサービス(株)の3社構成による「生田緑地 日比谷花壇・日比谷アメニス・東急ファシリティサービス共同事業体」が指定管理者業務を行っています。

## 8. 川崎市文化芸術振興会議施設部会

### 川崎市文化芸術振興会議施設部会

#### 第 1 回

日 時：2018 年 9 月 21 日（金）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原 純（美術評論家）

委員 杉浦 幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）、藤嶋 俊會（美術評論家）、  
室井 絵里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1)平成 30 年度事業経過・予定について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎の写真」展

「街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界」展

「イサム・ノグチと岡本太郎」展

「第 22 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

・常設展

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

(2)平成 31 年度事業経過及び予定について

#### 第 2 回

日 時：2018 年 3 月 5 日（火）14:00～16:30

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 勅使河原 純（美術評論家）

委員 杉浦 幸子（武蔵野美術大学芸術文化学科教授）、藤嶋 俊會（美術評論家）、  
室井 絵里（インディペンデントキュレーター）

議 事：

(1)平成 30 年度事業報告について

ア 展覧会事業

・企画展

「岡本太郎の写真」展

「街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界」展

「イサム・ノグチと岡本太郎」展



「第 22 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

- ・常設展
- ・パフォーマンス
- ・学術活動

イ 資料収集・整理、調査研究

ウ 作品の保存・修復、貸出

エ 普及企画

オ 広報活動

カ 施設・設備の整備

キ その他：予算・決算、統計データ等について

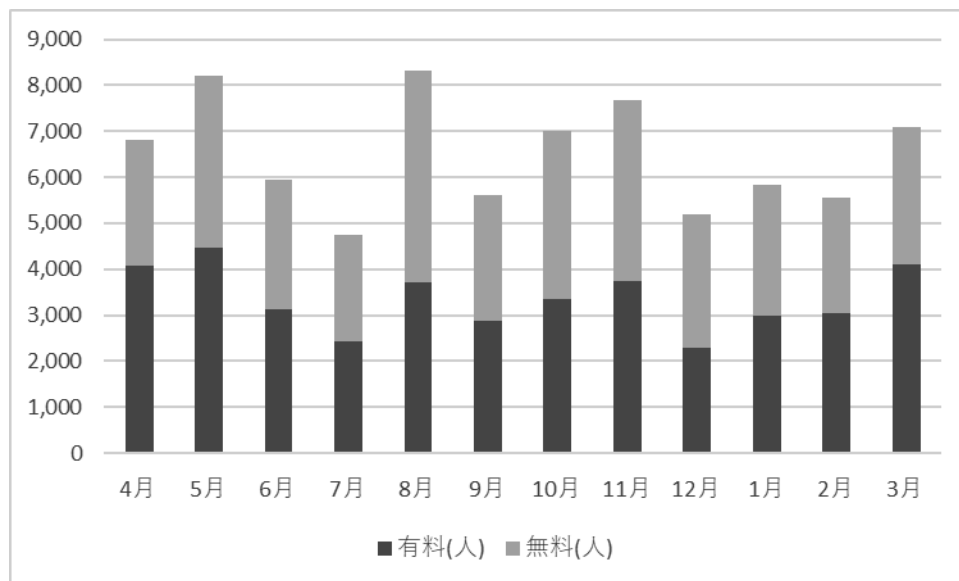
(2) 平成 31 年度事業予定について

## II. 資料

### 1. 入館者数統計

#### 【平成 30 年度 月別入館者数】

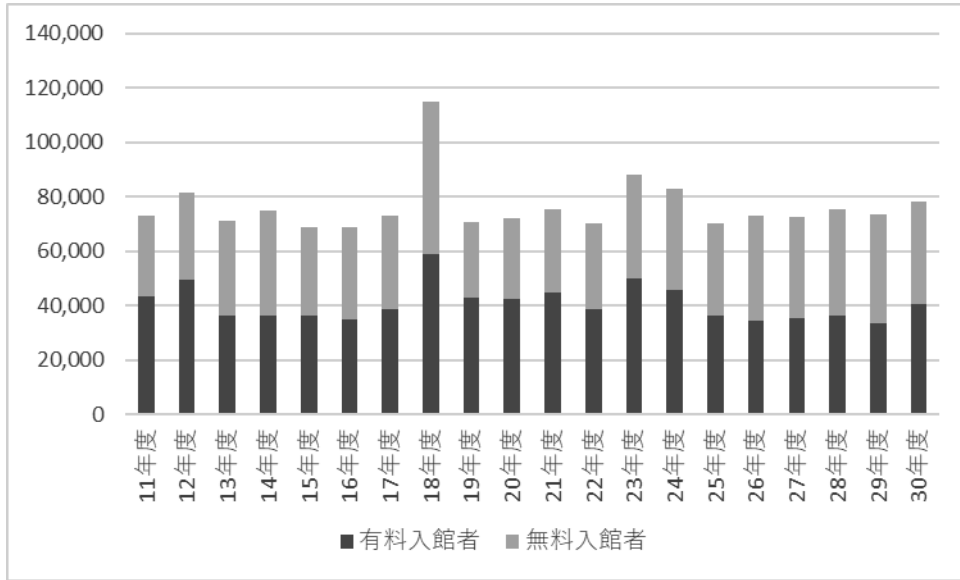
月	開館日数 (日)	一日平均 (人)	有料(人)	無料(人)	合計(人)
4	24	284	4,080	2,739	6,819
5	26	315	4,461	3,739	8,200
6	26	229	3,131	2,822	5,953
7	24	197	2,433	2,300	4,733
8	27	308	3,712	4,612	8,324
9	24	234	2,891	2,721	5,612
10	26	269	3,363	3,640	7,003
11	26	295	3,755	3,916	7,671
12	24	216	2,292	2,889	5,181
1	22	265	2,996	2,840	5,836
2	24	231	3,055	2,492	5,547
3	26	272	4,108	2,975	7,083
合計	299	261	40,277	37,685	77,962



## 【年度別入館者数】

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
11 年度	124	43,420	29,593	73,013	586
12 年度	292	49,532	31,837	81,369	279
13 年度	298	36,363	34,613	70,976	238
14 年度	298	36,466	38,259	74,725	247
15 年度	293	36,199	32,296	68,495	234
16 年度	287	34,607	34,183	68,790	240
17 年度	293	38,682	34,382	73,064	249
18 年度	296	58,619	56,197	114,816	388
19 年度	296	43,061	27,360	70,421	237
20 年度	294	42,545	29,443	71,988	245
21 年度	293	44,541	30,906	75,447	257
22 年度	284	38,422	31,611	70,033	247
23 年度	287	50,053	37,989	88,042	307
24 年度	284	45,777	37,260	83,037	292
25 年度	298	36,322	33,862	70,184	236
26 年度	296	34,370	38,800	73,170	247
27 年度	296	35,253	37,330	72,583	245
28 年度	294	36,417	38,922	75,339	256
29 年度	288	33,389	40,129	73,518	255
30 年度	299	40,277	37,685	77,962	261
合 計	5,690	814,315	712,657	1,526,972	269

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成 11）年 10 月 30 日



## 2. 美術館事業 予算・決算概要

## 予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	12,365	
	報酬	9,545	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,820	非常勤職員分
	学芸業務事業費	49,933	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	3,221	臨時職員賃金
	報償費	2,488	企画展協力謝礼 資料収集・評価委員会謝礼等
	旅費	749	企画展等調査旅費
	需用費	3,615	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	121	公園施設設置許可手数料
	委託料	19,913	展示上映事業（企画展 4 本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,027	OA機器賃借料 展示上映使用料賃借料
	備品購入費	1,728	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	11,061	平成 30 年度全国美術館会議 平成 30 年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	116,460	
	管理運営委託料	116,460	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,907	
	共済費	6	臨時職員分
	賃金	1,837	臨時職員賃金
	需要費	423	消耗品
	委託料	3,641	映像デジタル化・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	12,129	
	委託料	1,129	Wi-fi 設備 整備
	工事請負費	11,000	サンクンガーデン植栽、カフェ・エントランス自動ドア装置、エレベーター、消防設備、空調加湿器等の補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,463	
委託料	5,463	平面《母と子》《行列》《仮面劇》《マスク》《疾走する眼》、立体《千手》 補修	
計		202,257	
歳 入	使用料	38,930	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,365	非常勤職員分
	雑入	9,114	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
計		50,698	

## 決算概要

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	非常勤職員経費	12,280	
	報酬	9,545	館長及び非常勤職員報酬
	共済費	2,735	非常勤職員分
	学芸業務事業費	48,606	
	共済費	10	臨時職員分
	賃金	2,929	臨時職員賃金
	報償費	2,338	企画展協力謝礼 資料収集・評価委員会謝礼等
	旅費	535	企画展等調査旅費
	需用費	3,250	図書・雑誌代 展示上映用消耗品 情報事業用消耗品 教育普及用消耗品 燃料費 食糧費 印刷製本費
	役務費	120	図書館レシート広告
	委託料	19,852	展示上映事業（企画展4本、常設展展示替） 情報事業 教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	6,986	OA機器賃借料 展示上映使用料賃借料
	備品購入費	1,528	美術作品・資料購入 庁用備品購入 図書購入
	負担金補助金及び 交付金	11,058	平成30年度全国美術館会議 平成30年度神奈川県博物館協会等 美術館連絡協議会企画展負担金

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	116,459	
	管理運営委託料	116,459	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	5,511	
	共済費	6	臨時職員分
	賃金	1,484	臨時職員賃金
	需要費	380	消耗品
	委託料	3,641	映像デジタル化・写真デジタル化
	美術館維持補修事業費	11,635	
	委託料	983	Wi-fi 設備 整備
	工事請負費	10,652	サンクンガーデン植栽、カフェ・エントランス自動ドア装置、エレベーター、消防設備、空調加湿器等の補修
	岡本太郎作品補修事業費	5,456	
委託料	5,456	平面《母と子》《行列》《仮面劇》《マスク》《疾走する眼》、立体《千手》補修	
計		199,947	
歳 入	使用料	28,419	観覧料
	その他使用料	1,207	カフェテリア使用料・資料等特別利用料
	納付金	1,320	非常勤職員分
	雑入	1,886	図録等売上・音声ガイド利用料・助成金・イベント収入
計		32,832	



### III. 組織名簿 (30年度)

#### 1. 川崎市文化芸術振興会議施設部会委員名簿 (任期2018年10月1日～2019年9月30日)

部会長	勅使河原 純 (美術評論家)
委員	杉浦 幸子 (武蔵野美術大学芸術文化学科教授)
委員	藤嶋 俊會 (美術評論家 (文化芸術振興会議委員))
委員	光田 由里 (DIC川村記念美術館学芸課長)
委員	室井 絵里 (インディペンデントキュレーター)

#### 2. 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	北 條 秀 衛	主任 (普及企画)	山 崎 千 加 子
副館長	荻 原 圭 一	職員 (学芸)	飯 島 祥 平
課長補佐 (学芸)	大 杉 浩 司	嘱託職員 (学芸)	篠 原 優
担当係長 (管理)	西 泉 壯 一	嘱託職員 (普及企画)	橋 本 文 恵
担当係長 (学芸)	佐々木 秀 憲	嘱託職員 (普及企画)	北 川 裕 介
担当係長 (普及企画)	佐 藤 玲 子	嘱託職員 (普及企画)	千 村 曜 子
主任 (学芸)	片 岡 香		

## IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

### 1. 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

### 2. 美術館事業内容

#### 収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

#### 調査研究

- ・ 岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・ 美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・ 美術館の普及活動における調査研究。

#### 展 示

##### (常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年 4 回行います。

##### (企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年 4 回の割合で行います。

#### 情報・出版

情報コーナーとガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての情報や映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

#### 普 及

子供から成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

### 3. 美術館沿革

平成 3 年 4 月 川崎市市民ミュージアム「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催

11 月 岡本太郎氏の所有する主要作品 352 点が寄贈される(第一次)

平成 5 年 1 月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る

岡本太郎氏の所有する主要作品 1427 点が追加寄贈される(第二次)

4 月 岡本太郎記念館準備室 発足

川崎市市民ミュージアム「TARO 万華鏡」展開催

- 平成 6 年 4 月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更
- 平成 7 年 11 月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成 8 年 1 月 岡本太郎 逝去（享年 84 歳）
- 6 月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11 月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成 9 年 9 月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成 10 年 5 月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成 11 年 2 月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期 2 年 3 ヶ月）
- 4 月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更  
村田慶之輔氏が館長に就任  
シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10 月 川崎市岡本太郎美術館開館 開館記念「多面体・岡本太郎一哄笑するダイナミズム」展開催
- 平成 15 年 4 月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料 1,827 点が寄贈される（第三次）
- 平成 16 年 3 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》設置
- 4 月 「肉体のシュルレアリスム舞踏家土方巽抄」展（2003 年）より、第 35 回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10 月 開館 5 周年記念「テレビ発掘 まる裸の太郎」展開催
- 平成 17 年 3 月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10 月 多摩区役所 1F ロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成 18 年 2 月 入館者 50 万人達成
- 平成 21 年 4 月 開館 10 周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成 23 年 2 月 岡本太郎生誕 100 年 誕生日記念イベント開催
- 3 月 東京国立近代美術館で「生誕 100 年 岡本太郎」展開催
- 4 月 「生誕 100 年人間・岡本太郎展」開催
- 10 月 岡本太郎生誕 100 年記念イベント ダンス公演「TARO と踊ろう！」開催
- 平成 24 年 3 月 入館者 100 万人達成
- 4 月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成 25 年 3 月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4 月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成 26 年 3 月 生田緑地西口園路開通
- 7 月 川崎市制 90 周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」展
- 10 月 開館 15 周年記念展「TARO 賞の作家Ⅱ」展開催
- 11 月 開館 15 周年記念イベント「TARO 祭り」開催
- 平成 27 年 2 月 《母の塔》補修工事完了
- 4 月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6 月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
- 10 月 川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成 30 年 11 月 入館者 150 万人達成

## 4. 施設・設備概要

### 常設展示室 (1,026 m<sup>2</sup>)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅をはじめます。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。



### 企画展示室 (828 m<sup>2</sup>)

岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m<sup>2</sup>の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。



### 母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次元曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・1971 年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬） 径 2m、7 本
- 外装・・・・・・外殻 GRC クラッシュパネル  
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRP ブロンズ仕上 16 体 H=3.0~5.6m  
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・照明設備、避雷



## V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

### 1. 条例

(目的及び設置)

第 1 条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形 7 丁目 1 番 5 号とする。

(事業)

第 3 条 美術館は、第 1 条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第 4 条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第 5 条 市長は、法人その他の団体であつて次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第 1 項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第 6 条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 7 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第 8 条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前 2 号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第 9 条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第 1 に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第 10 条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第 2 に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第 11 条 市長は、第 3 条第 4 号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、特に必要があると認めるときは、第 9 条に規定する観覧料及び第 10 条第 2 項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除すること

ができる。

(観覧料等の還付)

第 13 条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第 14 条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第 15 条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 16 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成 11 年 6 月 30 日規則第 69 号で平成 11 年 10 月 30 日から施行)

附 則 (平成 12 年 12 月 21 日条例第 79 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 9 月 30 日条例第 88 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 12 月 14 日条例第 77 号)

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 3 月 20 日条例第 18 号抄)

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 10 月 9 日条例第 47 号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成 19 年法律第 96 号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則 (平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

- (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
- (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
- (3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則 (平成 24 年 3 月 19 日条例第 4 号)

この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 4 条の次に 4 条を加える改正規定(第 5 条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第 12 条の改正規定(同条を第 16 条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日

(2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日

(3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日

(4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日

(5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日

(6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日

(7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日

(8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日

(9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則 (平成 28 年 3 月 24 日条例第 30 号)

この条例は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 9 条関係)

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び 65 歳以上の者	300 円	1 人につき 240 円
一般	500 円	1 人につき 400 円

備考

1 団体とは、20 人以上をいう。

2 学齢に達しない者及び学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 1 条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

3 高校生・大学生とは、法第 1 条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第 124 条に規定する専修学校、法第 134 条に規定する各種学校その

他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

4 一般とは、前2項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。

5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1人につき2,000円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体(20人以上をいう。)の入場等については、この限りでない。

(1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市市民ミュージアム条例(昭和62年川崎市条例第45号)に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例(昭和46年川崎市条例第24号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例(昭和42年川崎市条例第19号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2(第10条関係)

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

## 2. 条例施行規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例(平成11年川崎市条例第25号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

**第2条** 市長は、条例第5条第1項の規定により川崎市岡本太郎美術館(以下「美術館」という。)の管理を行わせるため、法人その他の団体(以下「法人等」とい

う。)を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第5条第1項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間(以下「指定予定期間」という。)
- (4) 条例第5条第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出(以下「事業計画書等の提出」という。)の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項  
(事業計画書等の提出)

**第3条** 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第5条第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (3) 事業計画書等の提出をする日(以下「提出日」という。)の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類  
(指定管理予定者)

**第4条** 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第5条第1項各号に掲げる要件(以下「指定要件」という。)を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者(以下「指定管理予定者」という。)とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人



等を指定管理予定者とする。

- 3 市長は、前条第 1 項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前 2 項の指定管理予定者がいないときは、再度、第 2 条の規定による公告を行う。

(通知)

**第 5 条** 市長は、条例第 5 条第 1 項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第 1 号様式）により通知する。

(協定)

**第 6 条** 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

- 2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和 39 年川崎市条例第 14 号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事務の委任)

**第 7 条** 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第 10 条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第 12 条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第 13 条の規定による観覧料等の還付に関すること。

(観覧券等の交付)

**第 8 条** 館長は、条例第 9 条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

**第 9 条** 市長は、条例別表第 1 の 3 の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

**第 10 条** 条例第 10 条第 1 項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第 2 号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第 3 号様式）を交付するものとする。

- 3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

(1) 条例第 3 条第 1 号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。

(2) 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。

(3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。

(4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

**第 11 条** 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

(1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの

(2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの

(3) 著作権が存する美術作品等で著作権者の同意を得ていないもの

(4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(観覧料等の減免)

**第 12 条** 条例第 12 条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）第 7 条第 1 項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が

常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第 4 条第 1 項又は第 2 項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成 6 年法律第 117 号）第 2 条第 3 項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第 1 号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあつては観覧料減免申請書（第 4 号様式）を、前項第 2 号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあつては特別利用料減免申請書（第 5 号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第 1 号ウの場合にあつては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあつては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料等の還付)

**第 13 条** 条例第 13 条ただし書の規定により観覧料等を選付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額
- (3) 前 2 号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

**第 14 条** 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項（委任）

**第 15 条** この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

**附 則**

(施行期日)

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成 11 年川崎市教育委員会規則第 7 号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

**附 則**（平成 25 年 3 月 29 日規則第 26 号抄）

(施行期日)

1 この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

**附 則**（平成 27 年 5 月 27 日規則第 49 号）

この規則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

**規 則**（平成 28 年 3 月 31 日規則第 25 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

第 1 号様式

第 2 号様式

第 3 号様式

第 4 号様式

第 5 号様式

平成 30 年度

川崎市岡本太郎美術館年報

2019 年 9 月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区柘形 7-1-5

TEL 044-900-9898

印刷　／日本プロセス秀英堂

**TARO OKAMOTO**  
**MUSEUM OF ART**  
**KAWASAKI**